

埼玉県市町村立学校職員の人事評価実施要領

最終改正：令和8年4月1日 教県第1957号

1 趣旨

この要領は、埼玉県市町村立学校職員の人事評価に関する規則（平成17年1月15日埼玉県教育委員会規則第29号。以下「規則」という。）第15条により、人事評価の実施について必要な事項を定めるものとする。

2 用語の定義

この要領において、次の(1)から(6)に掲げる用語の意義は、当該(1)から(6)に定めるところによる。

- (1) 職員 埼玉県市町村立学校の県費負担教職員をいう。
- (2) 管理職員 校長、教頭及び市町村教育委員会教育長（以下「市町村教育長」という。）が指定する者（共同調理場に所属する栄養教諭及び学校栄養職員の第1次評価者及び最終評価者）をいう。
- (3) 校長等 校長及び市町村教育長が指定する者（共同調理場に所属する栄養教諭及び学校栄養職員の最終評価者）をいう。
- (4) 教職員 (2)に定める管理職員を除く職員をいう。
- (5) 教諭等 主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、助教諭、養護助教諭、講師及び拠点校指導教員をいう。
- (6) 事務職員等 事務主幹、事務主査、栄養主査、事務主任、栄養主任、事務主事、栄養技師、主任専門員及び専門員をいう。

3 定期評価の実施除外者

定期評価を実施しない職員は、次の職員とする。なお、勤務期間が6月以上の者であっても、休職者その他定期評価の実施が困難な特別な事情がある者については、臨時評価の対象とする。

- (1) 指導主事に充てられている職員
- (2) 会計年度任用職員
- (3) 次に掲げる事由により、4に定める評価期間において、市町村立学校（共同調理場を含む。）における勤務期間が6月未満の職員
 - ア 埼玉県教育委員会及び市町村教育委員会の計画による長期の研修
 - イ 長期派遣
 - ウ 休職
 - エ 育児休業
 - オ 大学院修学休業
 - カ 停職
 - キ 出産休暇
 - ク 病気休暇
 - ケ 介護休暇
 - コ 自己啓発等休業
 - サ 配偶者同行休業
- (4) 任期付職員、臨時的任用職員及び再任用職員のうち、評価期間における発令期間が6月未満の職員又は評価期間における発令期間が6月以上で勤務期間が6月未満の職員

- (5) (1)から(4)に掲げる職員のほか、埼玉県教育委員会教育長（以下「県教育長」という。）が公正な評価を実施することが困難であると認める職員

4 評価期間

- (1) 定期評価の評価期間は、次の(2)の場合を除き、定期評価の基準日（以下「定期評価基準日」という。）の属する年度の4月1日から翌年の3月31日までとする。
- (2) 定期評価の評価期間の初日に、3(3)に掲げる事由その他の事由により勤務していなかった職員の評価期間については、当該事由が消滅し職務に復帰又は復職した日から、定期評価基準日の属する年度の3月31日までとする。

5 人事評価の方法

(1) 評価書

評価書は、自己評価シート及び最終評価シートにより構成し、次の表に掲げる職員の区分に応じ、それぞれ該当する様式とする。

区分	自己評価シート	最終評価シート
(1) 校長	様式1-1	様式2-1
(2) 教頭	様式1-2	様式2-2
(3) 主幹教諭（小学校教諭）	様式1-3	様式2-3
(4) 主幹教諭（中学校教諭）	様式1-4	
(5) 主幹教諭（高等学校教諭）	様式1-5	
(6) 主幹教諭（特別支援学校教諭）	様式1-6	
(7) 主幹教諭（養護教諭）	様式1-7	
(8) 主幹教諭（栄養教諭）	様式1-8	
(9) 小学校教諭（講師含む）	様式1-9	
(10) 中学校教諭（講師含む）	様式1-10	
(11) 高等学校教諭（講師含む）	様式1-11	
(12) 特別支援学校教諭（講師含む）	様式1-12	
(13) 養護教諭	様式1-13	
(14) 栄養教諭	様式1-14	
(15) 小学校助教諭（講師含む）	様式1-15	
(16) 中学校助教諭（講師含む）	様式1-16	
(17) 高等学校助教諭（講師含む）	様式1-17	
(18) 特別支援学校助教諭（講師含む）	様式1-18	
(19) 養護助教諭	様式1-19	
(20) 拠点校指導教員	様式1-20	
(21) 事務主幹	様式1-21	
(22) 事務主査	様式1-22	
(23) 事務主任、主任専門員（事務職員）	様式1-23	
(24) 事務主事、専門員（事務職員）	様式1-24	
(25) 栄養主査	様式1-25	
(26) 栄養主任、主任専門員（栄養職員）	様式1-26	
(27) 栄養技師、専門員（栄養職員）	様式1-27	

- (2) 実績と行動プロセスに関する評価領域及び着眼点
総合評価の評価領域及び行動プロセスに関する着眼点は、別表第1のとおりとし、実績と行動プロセスの評価領域は同一とする。
- (3) チームワーク行動に関する着眼点
チームワーク行動評価のキャリア段階ごとのチームワーク行動に関する着眼点は、別表第2のとおりとする。
- (4) 評価の基準等
別表第3の評価に係る表による。
- (5) 自己評価の手順
自己評価は、自己評価シートにより、評価領域別に実績（職員が設定した目標の達成状況）及び行動プロセス（職務遂行の過程で発揮された能力及び執務姿勢）について、職員自ら評価するもので、当初申告、中間申告並びに達成状況申告及び自己評価により行い、必要に応じて基準日修正を行う。加えて教職員の自己評価は、自己評価シートによりチームワーク行動（職務遂行の過程における他の職員とのコミュニケーション及び協働に関する行動）について、自ら評価するもので、当初申告並びに自己評価により行う。

ア 当初申告

(ア) 「目指す学校像」の策定

児童生徒、保護者、地域の意見や要望を踏まえ、校長の的確なリーダーシップの下、創立時の基本理念や現在の学校の状況、将来展望等について職員間で十分話し合い、共通理解を深めながら策定する。

(イ) 管理職員の当初申告

管理職員は、5月1日を目標設定の基準日（以下、「目標設定基準日」という。）として、職員間の共通理解を深めながら目指す学校像、重点目標を達成するために具体的な課題を整理した上、自らの職務上の目標を、評価領域別に原則として1～2項目設定し、その目標を達成するための個別の方策（目標達成に向けた具体的な手順や時期等）及び困難度（別表第3の表1による）を自己評価シートの当初申告欄に記入する。

教職員に説明・周知後、校長にあっては市町村教育長が定める日までに、自己評価シートの写しを市町村教育長に提出する。また、教頭にあっては校長が定める日までに、自己評価シートの写しを校長に提出する。校長はこれを市町村教育長に提出する。

(ウ) 教職員の当初申告

教職員は、5月1日を目標設定基準日として、前年度の学校の教育活動に対する評価や目指す学校像、重点目標との連鎖、また管理職員の目標との連鎖にも留意しながら、自らの職務上の目標を、評価領域別に原則として1～2項目設定し、その目標を達成するための個別の方策（目標達成に向けた具体的な手順や時期等）及び困難度（別表第3の表1による）を自己評価シートの当初申告欄に記入する。その際、学年、校務分掌、教科ごとの目標等にも連鎖させながら、学校評価の一環として学年、校務分掌、教科等で十分話し合った内容を自己の目標に取り入れる。

また、本県本採用年度からの年数に応じたキャリア段階ごとに定められたチームワーク行動に関する着眼点について、当該年度に重点的に取り組もうとする項目を2つ選ぶ。

任期付職員、臨時的任用職員及び再任用職員にあっては、少なくとも1つの領域で目標を設定する。なお、評価領域Iを「教科指導等」とする教

論は原則として評価領域Ⅰに目標を設定する。チームワーク行動に関する着眼点について、重点項目を選択しない。

研修欄には、自身の知識や技能を高めるために重点的に取り組みたいことがある場合に記入する。

教職員は、自己評価シートの写しを校長等が定める日までに管理職員に提出した後、管理職員と面談を行って理解を深めながら目標の内容や困難度を確定する。

イ 中間申告

(ア) 管理職員の中間申告

管理職員は、設定した目標の進行状況を、10月1日を基準日（以下「中間申告基準日」という。）として整理し、必要に応じて目標の修正等（方策の追加・変更や困難度の修正を含む。以下同じ。）を行い、その内容を自己評価シートの中間申告欄に記入し、教職員に説明・周知後、校長にあっては市町村教育長が定める日までに自己評価シートの写しを市町村教育長に提出する。教頭にあっては校長が定める日までに、自己評価シートの写しを校長に提出する。校長は、これを市町村教育長に提出する。

(イ) 教職員の中間申告

教職員は、中間申告基準日時点で、目標の修正等がある場合は、自己評価シートの中間申告欄に記入し、校長等が定める日までに、自己評価シートの写しを管理職員に提出する。

ウ 達成状況申告及び自己評価

(ア) 管理職員の達成状況申告及び自己評価

管理職員は、12月から1月末までの間に目標の達成状況・次年度への課題と別表第3の表2による目標の達成度を自己評価シートの達成状況申告欄に記入するとともに、実績及び行動プロセスについて、別表第1の行動プロセスに関する着眼点を踏まえ、別表第3の表3により自己評価を行い、評価欄に記入する。評価の理由及び特筆すべき実践については、所見・特記事項欄に記入する。その際、学校評価をはじめとして、学校の目標の達成に向けた取組状況を十分踏まえるとともに、保護者や地域住民、学校評議員、児童生徒及び教職員の意見や情報に留意する。

なお、提出の前に、教職員間の共通理解を深めるために自己評価シートの達成状況申告の記述内容を、自己評価欄を除いて、教職員に説明・周知するものとする。その後、当該自己評価シートを、校長にあっては市町村教育長が定める日までに、教頭にあっては校長が定める日までに第1次評価者に提出する。

(イ) 教職員の達成状況申告及び自己評価

教職員は、学校評価の一環として学年、校務分掌、教科等で十分話し合った内容を踏まえ、目標に対する取組と達成状況を自ら分析した上、12月から1月末までの間に目標の達成状況・方策の取組状況・次年度への課題と別表第3の表2による目標の達成度を自己評価シートの達成状況申告欄に記入するとともに、実績及び行動プロセスについて、別表第1の行動プロセスに関する着眼点を踏まえ、別表第3の表3により自己評価を行い、評価欄に記入する。評価の理由及び特筆すべき実践については、所見・特記事項欄に記入する。また、チームワーク行動について重点項目その他の取組状況を記入するとともに、別表第2のチームワーク行動に関する着眼点を踏まえ、別表第3の表7により自己評価を行い、評価欄に記入し、校

長等が定める日までに当該自己評価シートを第1次評価者に提出する。

なお、校長等の判断により、定期評価基準日以降に達成状況申告及び自己評価を行うことができるものとする。その際、十分な面談時間を確保するとともに、人事評価報告書等の提出に支障がないよう配慮するものとする。

任期付職員、臨時的任用職員及び再任用職員にあつては、校長の定める日程に基づいて達成状況申告及び自己評価を実施する。

エ 基準日修正

職員は、定期評価基準日時点で、前記ウの達成状況申告及び自己評価を修正する必要が生じた場合に限り、目標及び実績欄の修正申告欄に修正内容及び達成度、自己評価欄の修正評価欄に修正理由及び評価を記入する。

(6) 評価者評価の手順

ア 評価者評価は、最終評価シートにより、第1次評価者及び最終評価者が行うものとする。

イ 第1次評価者評価

(ア) 管理職員の第1次評価者評価

第1次評価者は、被評価者の自己評価を基本に、行動プロセスに関する着眼点を踏まえ、実績及び行動プロセスについて、評価領域別に別表第3の表4により評価する。総合評価は、評価領域別の評価者評価を別表第3の表5の換算表により行う。

なお、評価がA、C又はDである場合は、その根拠を、事実に基づき、所見・特記事項欄に具体的に記入する。評価がBである場合については、その理由を簡潔に記入する。

(イ) 教職員の第1次評価者評価

第1次評価者は、(ア)前段に準じて総合評価を行う。また、チームワーク行動について、別表第3の表8により評価する。

ウ 最終評価者評価

(ア) 管理職員の最終評価者評価

最終評価者は、実績及び行動プロセスについて、イ(ア)に準じて総合評価を行う。その際、第1次評価者の評価を参考とする。

(イ) 教職員の最終評価者評価

最終評価者は、実績及び行動プロセスについて、イ(ア)前段に準じて総合評価を行う。その際、第1次評価者の評価を参考とする。

なお、評価がA、C又はDである場合は、その根拠を、事実に基づき、所見・特記事項欄に具体的に記入する。評価がBである場合については、その理由を簡潔に記入する。

また、チームワーク行動について、別表第3の表8により評価する。その際、第1次評価者の評価を参考とする。なお、評価がCである場合は、その根拠を、事実に基づき、所見・特記事項欄に具体的に記入する。評価がA又はBである場合については、その理由を簡潔に記入する。

任期付職員、臨時的任用職員及び再任用職員にあつては、実績及び行動プロセス並びにチームワーク行動について評価の根拠、理由等を所見・特記事項欄に簡潔に記入する。ただし、評価がC又はDである場合は、その根拠を、事実に基づき、所見・特記事項欄に具体的に記入する。

エ 調整

市町村教育長は、最終評価者が最終評価シートに記載した最終評価結果に

ついて、過誤等があると認められる場合は、公正に調整する。

6 特別評価及び臨時評価

(1) 特別評価

特別評価にあつては、次の方法により行うものとする。

ア 教育公務員特例法（昭和24年法律第1号）第12条第1項の規定の適用を受ける職員の特別評価の方法については、5に規定する方法により行うものとする。また、その評価結果は、特別評価の結果とすることができる。

イ 地方公務員法（昭和25年法律第261号）第22条第1項の適用を受ける職員（アに該当しない職員。以下「条件附採用職員」という。）の特別評価については、行動プロセスについてのみとし、その方法は次のとおりとする。

(ア) 特別評価の評価書は、最終評価シートとする。

(イ) 第1次評価者は、条件附採用職員の行動プロセスを、行動プロセスに関する着眼点を踏まえ、評価領域別に別表第3の表4により評価する。総合評価は、評価領域別の評価者評価を別表第3の表5の換算表により行う。

また、チームワーク行動評価について、別表第3の表8により評価する。

(ウ) 最終評価者は、第1次評価者の評価及び意見を参考に(イ)と同様に評価を行うとともに、最終評価シートの所見・特記事項欄に評価理由等を記入する。

(エ) 特別評価にあつては、条件附採用の期間開始後4月を経過した日において、その前日までに実際に勤務した日数が70日に満たないため、特別評価の基準日（以下「特別評価基準日」という。）の変更が必要な場合については、条件附採用の期間の範囲内において実際に勤務した日数が70日に達した日の翌日を特別評価基準日とする。ただし、職員の任用に関する規則（埼玉県人事委員会規則6-11）第38条の規定により条件附採用の期間を延長された職員にあつては、実際に勤務した日数が90日に達した日を特別評価基準日とする。

(2) 臨時評価

臨時評価は、(1)イの(ア)から(ウ)に規定する方法に準じて評価する。なお、自己評価及び面談については、可能な限り実施するものとする。

7 面談

(1) 管理職員の第1次評価者（校長にあつては、市町村教育長又は市町村教育長が指定する者）は、管理職員と当初面談（目標設定申告時の面談をいう。以下同じ。）、中間面談（中間申告時の面談をいう。以下同じ。）及び達成状況面談（達成状況申告時の面談をいう。以下同じ。）を実施する。

(2) 管理職員は、教職員と当初面談及び達成状況面談を実施する。達成状況面談は、12月から実施できるものとする。中間面談は、教職員に目標の修正等がある場合に実施する。

任期付職員、臨時的任用職員及び再任用職員（管理職員を除く）にあつては、校長の定める日程に基づいて実施する。

8 評価結果の被評価者への通知及び評価書等の提出

(1) 校長等は、市町村教育長が定める日までに、評価書及び教職員の定期評価に係る人事評価報告書（様式3-3-1）を市町村教育長に提出する。任期付職

員、臨時的任用職員及び再任用職員（管理職員を除く）については、評価書及び人事評価結果一覧（様式3-4-1）を市町村教育長に提出する。なお、定期評価の最終評価結果は、提出前に、文書により被評価者に通知する。

- (2) 校長等は、特別評価の評価結果について、定期評価の最終評価結果を被評価者に知らせる時期に、当該被評価者の定期評価の最終評価結果とともに通知するものとする。
- (3) 校長等は、6(2)により行った臨時評価の評価結果について、原則として、定期評価の評価期間中に被評価者に通知するものとする。
- (4) 管理職員の最終評価者は、管理職員の最終評価結果を校長に通知する。校長は、当該最終評価結果を当該被評価者に通知するものとする。
- (5) 市町村教育長が最終評価結果を調整した場合にあっては、当該調整後の評価結果を校長等に通知する。校長等は当該調整後の評価結果を当該被評価者に通知するものとする。
- (6) 市町村教育委員会は、(1)により校長等から提出された評価書、人事評価報告書及び人事評価結果一覧を基に市町村教育委員会で作成する人事評価報告書（様式3）及び人事評価結果一覧（様式3-4-2）に所定の事項を記入し、埼玉県教育委員会に提出するものとする。

なお、市立高等学校校定時制課程に所属する県費負担教職員がいる場合は、併せて報告する。

- (7) 評価書及び人事評価報告書（以下「人事評価報告書等」という。）が電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをいう。以下同じ。）で作成される場合における(1)及び(6)の規定による人事評価報告書等の提出並びに(4)及び(5)の規定による校長等への通知は、電磁的方法（電子情報処理の方式を使用する方法その他情報通信の技術を利用する方法であって県教育長の定めるものをいう。以下同じ。）をもって行うことができる。

(7)の規定により人事評価報告書等の提出又は校長等への通知が電磁的方法により行われたときは、市町村教育長の指定する者又は校長等の使用に係る電子計算機に備えられたファイルに記録がなされたときに、人事評価報告書等の提出又は校長等への通知がなされたものとみなす。

9 評価者研修

人事評価制度の円滑かつ適切な運用のため、人事評価制度の意義や評価方法、評価の実例等についての評価者研修を実施するものとする。

10 苦情の申出及び相談

- (1) 職員は、最終評価者が行った当該職員の最終評価結果について苦情があるときは、市町村教育長が指定する日までに学校名、職名、氏名及び苦情の内容を記載した文書を提出して行うものとする。
- (2) 職員は、人事評価制度の運用について苦情があるときは、学校名、職名、氏名を明らかにした上で、電話により相談を行うものとする。

11 評価書等の保存及び引き継ぎ等

(1) 評価書等の保存

ア 学校における評価書の保存期間は、当該評価書作成後あらたに評価書が作成されるまでの期間及びその期間の経過後5年とする。ただし、行政不服審

査等に関する文書に該当した評価書の場合は、10年（当該評価書のうち、特に重要なものは11年以上）とする。

市町村教育委員会においては、管理職員の評価書及び教職員の評価書（最終評価シートに限る。）を、学校と同様の期間保存するものとする。

イ 学校及び市町村教育委員会における次の文書等の保存期間は10年とする。ただし、行政不服審査又は訴訟に関する文書等で特に重要なものは11年以上とする。

(ア) 人事評価報告書

(イ) 人事評価ツール、人事評価結果一覧

ウ 苦情対応に係る文書等の保存については別に定める。

(2) 評価書の引き継ぎ

人事異動等により職員が転出した場合には、直近の年度に作成された評価書の写しを異動先の最終評価者に提出するものとする。市町村立学校から県内の公立学校への異動の場合、異動先校長あて親展文書とし、封緘した上、本人が直接持参（又は郵送）により送付する。

任期付職員、臨時的任用職員及び再任用職員にあつては、この規定は適用しない。

1.2 異動等があった場合の評価の取扱い

(1) 定期評価の評価期間中に職員の異動があった場合

ア 10月1日以前に異動（昇任（校長の採用を含む。）、転任及び降任をいう。以下同じ。）を命ぜられた職員については、異動の日の前日までに、異動前の目標について、進行状況を整理し、自己評価シートの達成状況申告欄に記入した上、異動先の最終評価者に引き継ぐものとする。また、管理職員は、異動後の職務について目標設定を行うものとする。教職員は、異動後の職務について目標設定及びチームワーク行動に関する重点項目の設定を行うものとする。

イ 10月2日以降2月1日以前に異動を命ぜられた職員については、異動の日の前日を定期評価基準日として、異動前の職務について、5に規定する方法により定期評価を行う。

なお、10月2日以降の異動において、異動後の職務に関する人事評価が必要な場合については、臨時評価を行うことができる。

ウ 定期評価の評価期間中に、市町村立学校以外の所属等から市町村立学校に異動した職員にあつては、5に規定する方法により定期評価を行うものとする。ただし、10月2日以降の異動により異動後における定期評価の実施が困難な場合は、臨時評価を行うことができる。

(2) 3(3)に掲げる事由その他の事由により定期評価基準日に勤務しなくなる場合

ア 定期評価の評価期間における勤務期間が6月以上ある職員のうち、当該評価期間の中途に3(3)に掲げる事由その他の事由により、定期評価基準日に、所属する学校（共同調理場を含む。）に勤務しなくなる職員については、当該事由により勤務しなくなる期間の始まる日の前日（その日が週休日又は休日の場合は、その日前において週休日又は休日でない日。）までに、実績及び行動プロセス並びにチームワーク行動について5(5)ウに規定する達成状況申告及び自己評価を行い、管理職員と面談の上、当該評価を記載した自己評価シートを第1次評価者に提出するものとする。

イ 当該職員の評価者は、定期評価基準日に、当該職員の定期評価を行うもの

とする。

- (3) 定期評価の評価期間中に評価者又は被評価者の異動があった場合

定期評価の評価期間の中途に評価者又は被評価者に異動があった場合は、評価者は異動前の評価者の意見を参考として評価を行うことができる。

- (4) 定期評価を実施しない場合

3(3)に掲げる事由により定期評価を実施しない職員については、人事評価報告書の備考欄に理由を明記するものとする。任期付職員、臨時的任用職員及び再任用職員（管理職員を除く）にあつては、人事評価結果一覧の備考欄に理由を明記する。

1.3 留意事項

- (1) 基本的留意事項

ア 管理職員は、教職員の専門性を踏まえて評価するとともに、その力量を絶えず高めていけるよう支援・育成することが大切である。

イ 学校は、一般の民間企業や行政組織と異なり、管理職の極めて少ない組織体であり、教職員は職務においてより高次の主体性や自発性・創造性が求められている。そのため、校長は、教職員が意欲をもって学校運営に参画し、競争主義に陥らないよう共通理解を深めながらチームワークづくりを推進し、学校の教育力を最大限発揮できる職場づくりに努めるとともに、適切に人事評価制度を運用することが大切である。

ウ 適切に人事評価制度を運用するため、評価者研修の取組は大変重要である。また、評価者である管理職員にとっては、評価者研修が能力開発の機会となるとともに、評価者としての責任を担って評価を行うこと自体が資質能力の向上につながることを十分認識する必要がある。

エ 教職員がその専門性を高めていくためには、日常的に自らその教育活動等を振り返り、分析や評価を深めながら自発的に改善していくことが必要である。教職員評価にとっては、自己評価を基本とすることが、各人の能力と意欲を最大限に引き出すことにつながる大切なものであることに留意する必要がある。

オ 管理職員は、教職員が客観的かつ適切に目標設定及び自己評価を行えるよう、十分に配慮することが大切である。自己評価の客観性を高めていくためには、学校評価のプロセスとして学年、校務分掌、教科等で十分に話し合った内容を踏まえることが必要であり、教職員評価と学校評価の連鎖が効果的なものとなるよう工夫し、実効性のあるものとしていくことが大切である。

カ 任期付職員、臨時的任用職員及び再任用職員の評価については、評価の信頼性を確保するため、任用の性格、任期や勤務経験、勤務実態等を考慮し、任期の定めのない本採用とは異なる実施方法とする。

- (2) 実績及び行動プロセスの目標設定に関する留意事項

ア 一人一人の教職員の目標は、組織としての学校の目標（目指す学校像）と連鎖していること、それぞれの教職員の目標達成に向けた取組が、学校としての目標達成につながることなど、学校評価と密接に関連させる。

イ 管理職員が申告する際には、管理職員の申告であることから、学校の特性を踏まえ、教職員間の共通理解を深めながら目指す学校像、重点目標を達成するための具体的な課題を整理した上で、自らの職務上の目標を設定し、職員会議等で教職員に説明を行い、教職員の意見等を踏まえる。

ウ 管理職員の目標は、5月1日を目標設定基準日として策定することとして

いる。そのため、「目指す学校像」について、年度当初から職員間で話し合い、共通理解を図る必要があることから、管理職員の目標設定の準備は、5月1日前から始める必要がある。

エ 目標設定については、教職員間の相互の理解を深めるため、学年、校務分掌、教科等で情報交換することが望ましい。したがって、定期評価の実施除外者についても、一人一人の教職員としての目標を持てるよう配慮する必要がある。

オ 目標及び困難度については、面談において、教職員の設定した困難度の理由を十分確認し、共通理解を図った上で確定する必要がある。

カ 生徒指導、進路指導などに関わる職務については、その職務行動が、直接、生徒に対するものであれば「学年・学級経営・生徒指導等」欄に記入し、校務分掌における生徒指導部や進路指導部等の職務である場合は「その他の校務等」欄に記入する。

なお、学年に所属していない教諭の場合であっても、生徒指導、進路指導に関わることから、「学年・学級経営・生徒指導等」欄に少なくとも1つの目標を設定することとする。（任期付職員、臨時的任用職員及び再任用職員は除く。）

「学年・学級経営・生徒指導等」欄の目標数を1つとした場合には、「教科指導等」欄又は「その他の校務等」欄のいずれか一方の目標を原則として3つまで設定することができる。

キ 部活動に関する目標を設定する場合は、「学年・学級経営・生徒指導等」欄に、部活動に関する目標と部活動以外の目標の2つの目標を記入する。その際、部活動の本来の意義を踏まえ、勝敗等の結果だけを追い求めることのないよう配慮する。

ク 拠点校指導教員が、拠点校において、自ら授業を担当していたり、初任者研修以外の校務分掌を担当している場合は、評価領域「基礎的素養に関する研修等」に目標を設定するものとする。

ケ 事務職員等の評価領域については、それぞれの職と分掌に基づき、校長等と当該職員が共通理解を深めながら設定する。

(3) 実績及び行動プロセスの評価方法に関する留意事項

ア 評価（自己評価を含む。）に当たっては、目標の達成に向けた取組状況に対する児童生徒、保護者、学校評議員及び教職員等の意見や情報に留意することが大切である。

イ 教職員の日常の勤務実績を適切に把握するため、評価方法は絶対評価とする。評価者が評価する際は、信頼性、納得性を高めるために自己評価を基本に評価する。各評価領域における自己評価が客観的かつ適切に行われていると判断できる場合、自己評価 x は評価者評価 B 又は A に、y は C 又は B に、z は D に対応することが基本となる。標準的な評価段階は B である。

ウ 最終評価者は、総合評価が D となる場合には、その根拠となる事実の詳細を様式 4 に記入し、最終評価シートに添付する。

エ 学校における教育活動の特性として、その成果はすぐに現れるものもあれば、長い期間を要するものもあることから、教育活動における取組のプロセスを重視するとともに、組織の一員としての協働の取組や貢献も考慮する。

オ 部活動の評価に当たっては、勝敗等の結果だけを追い求めることのないよう、プロセスを重視する。

カ 拠点校指導教員の第1次評価者（拠点校の教頭）及び最終評価者（拠点校

の校長)は、兼務校の校長、教頭等に執務の状況を十分確認し、総合的に評価を行うものとする。

なお、拠点校指導教員が拠点校において、自ら授業を担当していたり、初任者研修以外の校務分掌を担当している場合は、評価領域「基礎的素養に関する研修等」において評価を行う。

キ 共同調理場に所属する栄養教諭、学校栄養職員の第1次評価者及び最終評価者は、関係校の校長、教頭等に執務の状況を十分確認し、総合的に評価を行うものとする。

(4) チームワーク行動の評価全般に関する留意事項

教職員は職務においてより高次の主体性や自発性・創造性が求められている。学校の教育力を高め、教職員の専門性を育成していくためにも、児童生徒の成長・発達にあわせて教職員がお互いにフォローし、協働性を発展させていくことが重要である。学校は教職経験等の蓄積を基礎とする様々なキャリアを持つ教職員によって構成されている。そのため、組織の一員としてのチームワークづくりを重視し、そのキャリア段階に応じたチームワーク行動を評価していくことが大切である。

ただし、任期付職員、臨時的任用職員及び再任用職員にあつては、全てのチームワーク行動に関する着眼点を踏まえてチームワーク行動を評価する。

ア チームワーク行動には、教職員の自発性を基礎とした、協働性を創造するための継続的な努力が求められる。また、チームワーク行動は、教職員相互のよりよいコミュニケーションの上に、信頼関係や協力関係を創り出すものであり、その努力は学校教育を支えるために大変重要なものである。評価者評価にあたっては、教職員の主体性・創造性を重視しつつ、教職員一人一人の置かれた状況に配慮するとともに学校組織全体のチームワークを高めていくことに留意することが重要である。

イ 評価(自己評価を含む。)に当たっては、チームワーク行動に関する児童生徒、保護者及び教職員等の意見や情報に留意することが大切である。教科、学年、分掌など様々な教育活動におけるチームワーク行動全般について、そのプロセスを重視するとともに、職務行動全体のバランスにも留意する必要がある。

ウ 教職員の日常のチームワーク行動を適切に把握するため、評価方法は絶対評価とする。評価者が評価する際は、信頼性、納得性を高めるために自己評価を基本に評価する。自己評価が客観的かつ適切に行われていると判断できる場合、自己評価 x は評価者評価 A 又は B に、y は B 又は C に、z は C に対応することが基本となる。職務を遂行する上で、通常必要な水準を満たしており、期待どおりであれば A を標準とする。

エ 拠点校指導教員の第1次評価者(拠点校の教頭)及び最終評価者(拠点校の校長)は、兼務校の校長、教頭等に執務の状況を十分確認し、総合的に評価を行うものとする。

オ 共同調理場に所属する栄養教諭、学校栄養職員の第1次評価者及び最終評価者は、関係校の校長、教頭等に執務の状況を十分確認し、総合的に評価を行うものとする。

(5) 面談に関する留意事項

ア 面談は、コミュニケーションを円滑にするとともに、相互の理解を深め、教職員が課題解決に向けて意欲的な取組を行うよう実施する。したがって、この趣旨を達成する必要がある場合は、管理職員は、必要に応じて教職員と面談できるものである。

イ 校長の当初申告時又は中間申告時の面談において、校長の面談者は、目標及び進行状況の内容により、校長及び教頭の目標や困難度の修正等について、必要な指導助言を行うことができる。

(6) 評価結果に関する留意事項

ア 校長等は、最終評価結果を被評価者に通知する際には、共通理解を図るよう努めるものとする。

イ 校長等は、評価結果について、第1次評価の欄を除いた最終評価シートを手交することにより、被評価者に通知する。その際、当該被評価者が希望した場合及び総合評価の最終評価結果がC又はDとなる場合並びにチームワーク行動の最終評価結果がCとなる場合、その他必要な場合には、面談を実施するものとする。面談において、これまでの継続的な指導助言の内容と改善状況などについて丁寧に説明し、共通理解を図るよう努めるものとする。

ウ 校長等は、総合評価の結果が「D」となった教職員に対し、当該評価の評価領域別に、適切な指導・助言を行うとともに、自己研修計画書・報告書（様式5）を用い、自己研修の立案、実施の支援を行う。

エ 学校の協働性を踏まえ、能力・実績を過度に給与へ反映させることは、組織としての活動に影響を及ぼす可能性があることにも留意が必要である。このことに配慮して、連続して総合評価Aとなる場合は、特筆すべき実績や実践の事実について精査し、安易に連続させることなく客観性の高い評価となるように努めること。

オ 市町村教育長は、最終評価結果について、過誤等があると認められる場合は、公正に調整するため、当該最終評価を行った評価者の意見を十分に聴取するよう努めなければならない。

(7) 評価上の留意事項

評価に当たっては、次に掲げる事項に十分留意して実施する。

ア 想像や推定による内容を評価の材料とせず、面談や日常の観察等（授業の状況の把握を含む。）を通じて得た内容によって評価すること。

イ 評価者は、報告、連絡、面談等を通じて教職員の評価すべき事実を把握するよう努め、資質能力の向上の観点から、努力すべき点については、適宜被評価者に指導助言するとともに、記録に留めておくこと。

ウ 評価内容と直接関係ない事項（家庭事情、個人的事情等）を評価材料に加えないこと。

エ 評価者は、評価期間における職務実績について評価を行い、過去の実績にとらわれないこと。

オ 学歴、性別等を評価材料に加えないこと。

カ 情実や他人の評価に左右されずに、評価者自身による評価を行うこと。

キ 評価内容及び職務上知り得た評価に関する事項を他人に漏らしてはならないこと。

ク 評価方法の手続に従って評価を行うこと。

1.4 その他

この要領に定めるもののほか、人事評価の実施に関し必要な事項は、県教育

長が別に定める。

附 則

この要領は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和8年4月1日から施行する。

令和 年度 自己評価シート

学校名 [] 職名 [] 氏名 [] 職員番号 []

「目指す学校像」		目 標 及 び 実 績				行 動 プ ロ セ ス		自 己 評 価			
評価領域	困難度	当 初 申 告	中 間 申 告	達 成 状 況 申 告	※修正申告		行動プロセスに関する着眼点	所望・特記事項 (評価の理由を記すとともに、特筆すべき実績がある場合はその事実を記入する)	※修正評価		
		今年度の目標 (目標達成に向けた具体的な手順や時期等)	進行状況の整理 ・目標の修正等	目標の達成状況、次年度への課題	達成度	修正内容			達成度	評価	修正理由
I 学校経営の 改善及び運 営管理								<ul style="list-style-type: none"> 「目指す学校像」を踏まえ、学校の現状を分析して課題を明確にし、問題意識を持って意図的に学校経営に取り組み、その課題解決のため具体的な方策を策定・検証している。 校務分掌は、教職員の資質・能力、経験等を生かし、適切に組織活用がなされている。 目標や学校運営を行い、組織として十分機能を発揮させ、教職員の学校運営に対する参画意識を高めている。 心理的安全性を高め、主体的に課題を解決しようとする組織風土の醸成を図っている。 			
II 開かれた学 校づくり								<ul style="list-style-type: none"> 学校の目標や取組を関係機関、保護者、家庭、地域等と共有し、学校運営に対する参画を得て、連携・協働を図っている。 教育活動について積極的に情報発信している。 開かれた学校づくりに向けて意図的に取り組んでいる。 			
III 施設・事務 等の管理及 び予算運用								<ul style="list-style-type: none"> 教育活動を中核に行うため、施設・設備の管理、諸帳簿の整備、文書等の発行・管理を適切に行っている。 学校の特色化のため、予算の編成を工夫し、効率的な運用を行っている。 			
IV 教育計画の 年度重点の 目標及び教 育計画の実 施・評価・改 善								<ul style="list-style-type: none"> 年度の重点目標を適切に設定し、その達成に努めている。 学習指導要領等に基づいて、地域や学校、児童生徒の実態に即し、前意を生かした教育課程を編成、実施している。 教育計画の適切が立案、円滑な実施のために指導・助言及び評価を行い、組織的・計画的に質の高い活動へと改善・更新させている。 			
V 教職員の指 導育成及び 勤務状況の 把握								<ul style="list-style-type: none"> 教職員との円滑なコミュニケーションを図り、能力等を十分に把握し、自律的な成長が促されるように適切に指導・育成している。 教職員の勤務時間の管理をはじめ、適正な労務管理、業務配分及び興味管理に努め、各教職員のワークライフバランスの推進を考慮した適切な指導・助言を与えている。 教職員の共通理解を深めながらチームワークづくりを推進し、学校の教育力を最大限発揮できる職場づくりに努めている。 教育公務員として、高い倫理観と自覚を持ち、規程の遵守や公正を重んじた行動をとっている。 			

※自己評価欄については、「実績」及び「行動プロセス」について、「行動プロセスの着眼点」を踏まえ、領域ごとに総合的に自己評価を行い、記入する。
 ※修正申告及び修正評価欄については、達成状況申告及び自己評価が基準日前に行われた場合であって、基準日現在において状況が変わった場合に限り記載する。

令和 年度 自己評価シート

学校名 [] 職名 [] 氏名 [] 職員番号 []

「目指す学校像」		実績				自己評価		
評価領域	目標	達成状況		※修正申告		所望・特記事項 (評価の理由を記すとともに、特筆すべき実績がある場合はその事実を記入する)	評価 ※修正理由	
		今年度の目標	中間申告 進行状況の整理 ・目標の修正等	達成度	修正内容			
I 学校経営の改善及び運営管理	今年度の目標 方針策 (目標達成に向けた具体的な手順や時期等)	中間申告 進行状況の整理 ・目標の修正等	達成度	修正内容	達成度	行動プロセスに関する着眼点 ・目指す学校像を踏まえ、学校の現状を分析して課題を明確にし、問題意識を持って意図的に学校経営に取り組み、校長の目標の実現のため具体的な方策を実施・検証している。 ・校長を助け、円滑な学校運営を行う、組織として十分な機能を発揮させ、教職員の学校運営に対する参画意識を高めている。 ・校務分掌は、教職員の資質・能力、経験等を生かし、適切に組織活用がなされている。 ・心理的安全性を高め、主体的に課題を解決しようとする組織風土の醸成を図っている。		
II 開かれた学校づくり						・学校の目標や取組を関係機関、保護者、家庭、地域等と共有して学校運営に対する参画意識を得て、連携・協働を図っている。 ・教職員を指導して、教育活動について積極的に情報発信している。 ・開かれた学校づくりに意図的に取り組んでいる。		
III 施設・事務等の管理及び円滑運用						・教育活動を円滑に行うため、教職員を指導して、施設・設備の管理、諸帳簿の整備、文書等の発行・管理を適切に行っている。 ・学校の特色化のため、手帳の編成を工夫し、効果的な運用を行っている。		
IV 教育計画の重点年度目標及び学習指導、進路指導、生活指導、特別活動などの教育・評価・計画の策定・実施・改善						・教職員を指導して、年度の重点目標達成に努めている。 ・学習指導要領等に基づいて、地域や学校、児童生徒の実態に即し、創意を生かした教育課程を編成、実施している。 ・学習指導、連絡指導、生活指導、特別活動などの教育計画の適切立案、円滑な実施のために指導・助言及び評価を行い、組織的・計画的に質の高い活動へと改善・更新させている。 ・教職員の円滑なコミュニケーションを図り、能力等を十分に発揮し、自発的な取り組みを行うよう指導・支援している。 ・教職員の職務理解の管理をはじめ、適正な職務管理、業務遂行の促進・支援に努め、コミュニケーションを図ることも、各教職員のワークライフバランスの取組を考慮した適切な指導・助言を与えている。 ・教職員の地道な理解を促しながらチームワークづくりを推進し、学校の教育力を飛躍的に高める取組を行っている。		
V 教職員の指導育成及び勤務状況の把握						・教職員の指導育成として、部・部活動と連携をもち、教職員の指導育成に力を入れている。		

※自己評価欄については、「実績」及び「行動プロセス」について、「行動プロセス」の着眼点を踏まえ、領域ごとに総合的に自己評価を行い、記入する。
※修正申告及び修正評価欄については、達成状況申告及び自己評価が基準日前に行われた場合であって、基準日現在において状況が変わった場合に限り記載する。

令和 年度 自己評価シート

学校名	職名	氏名 (年齢)	職員番号	在職年数 (現所属)	年 ()
		(歳)		キャリア段階	I II III

評価領域	目 標 及 び 実 績				行 動 プ ロ セ ス		自 己 評 価		
	当 初 申 告	達 成 状 況 申 告	※修正申告	達成度	修正内容	達成度	所見・特記事項	評価	※修正評価
I 学校の組織的運営	今年度の目標 ■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]	目標の達成状況・方策の取組状況 次年度への課題	修正内容 ・校長及び教頭の指示を受け、その職務を整理し、校長等が判断・処理できるようとりまとめている。 ・企画委員会等の構成員として学校運営に積極的に参画している。 ・学校運営が組織的、機動的になされるよう、教職員の共通理解の下、積極的に関係部門の調整等に努めている。				(評価の理由を記するとともに、特筆すべき実績がある場合はその事実を記入する)		
II 教科指導・生徒指導等	■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]						・授業の充実を図るため、常に教材研究を努めている。 ・適切な指導計画に基づき、年間を通じて計画的に授業を進めている。 ・生徒一人一人の学習状況を把握し、個に応じた指導・支援を行っている。 ・指導と評価の一体化を図り、指導の改善や生徒の学習意欲の向上に努めている。 ・集団や社会の一員としての自覚を養い、望ましい生活習慣を育成している。 ・教育活動の対応に心がけ、生徒理解を努めながら適切な指導を行っている。 ・生徒一人一人の特性を考慮に向けた進路指導を行っている。 ・家庭や地域との情報交換を行い、連携して指導している。		
III 担当する校務等	■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]						・担当する校務の課題を的確に認識し、改訂に向けて組織的、計画的に取り組んでいる。 ・教職員とのコミュニケーションを図り、適切に指導・助言している。 ・開かれた学校づくりを意識的に取り組んでいる。 ・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。		

チームワーク行動に関する欄	I 段階 相手の立場や気持ち等を理解し、日常的に円滑なコミュニケーションを取っている。 諸会議や職務遂行において、他の教職員の意見に耳を傾け協力して取り組んでいる。 教育活動等の経験を継承するため、他の教職員から積極的に学ぼうとしている。 直接担当する業務以外でも、気付いたことなどは積極的に行動している。	II 段階 児童生徒の状況や校務に関する情報を共有し、積極的にコミュニケーションを取っている。 諸会議や職務遂行において、提案や改善に努め、意欲を持って主体的に取り組んでいる。 チームで協力して教育活動等の経験を蓄積に取り組んでいる。	III 段階 チームの課題や保護者等に関する情報を積極的に共有し、積極的にコミュニケーションを図っている。 諸会議や職務遂行において、進んで意見形成を図りながら、職務を円滑に遂行している。 教育活動等の経験を継承を伝承するため、他の教職員に対して進んで支援・助言を行っている。 広い視野から取組状況を分析し、中長期的な視点で課題や対応方針を考えて行動している。	チームワーク行動に関する欄 チームの課題や保護者等に関する情報を積極的に共有し、積極的にコミュニケーションを図っている。 諸会議や職務遂行において、進んで意見形成を図りながら、職務を円滑に遂行している。 教育活動等の経験を継承を伝承するため、他の教職員に対して進んで支援・助言を行っている。 広い視野から取組状況を分析し、中長期的な視点で課題や対応方針を考えて行動している。	重点 チームワーク行動に関する欄 チームの課題や保護者等に関する情報を積極的に共有し、積極的にコミュニケーションを図っている。 諸会議や職務遂行において、進んで意見形成を図りながら、職務を円滑に遂行している。 教育活動等の経験を継承を伝承するため、他の教職員に対して進んで支援・助言を行っている。 広い視野から取組状況を分析し、中長期的な視点で課題や対応方針を考えて行動している。	重点 チームワーク行動に関する欄 チームの課題や保護者等に関する情報を積極的に共有し、積極的にコミュニケーションを図っている。 諸会議や職務遂行において、進んで意見形成を図りながら、職務を円滑に遂行している。 教育活動等の経験を継承を伝承するため、他の教職員に対して進んで支援・助言を行っている。 広い視野から取組状況を分析し、中長期的な視点で課題や対応方針を考えて行動している。	チームワーク行動における重点項目その他の取組状況	評価
研修	(成果・課題)							

※ チームワーク行動については、当該年度に取り組もうとする重点項目 2 つに○を記入する。
 ※ 自己評価欄については、「実績」及び「行動プロセス」について、「行動プロセス」に関する欄を踏まえ、領域ごとに総合的に自己評価を行い、記入する。
 ※ 修正申告及び修正評価欄については、進捗状況申告及び自己評価が基準日前に行われた場合であって、基準日現在において状況が変わった場合に限り記載する。

令和 年度 自己評価シート

学校名	職名	氏名 (年齢)	職員番号	在職年数 (現所属)	年 () I II III
				キャリア段階	

「目指す学校像」		目 標 及 び 実 績				行 動 プ ロ セ ス		自 己 評 価			
		当 初 申 告	達 成 状 況 申 告	進 成 度	進 成 度	修正内容	修正申請	評価	修正理由	評価	
I 学校の組織 的対応	今年度の目標	方 策 (目標達成に向けた具体的な手順や時期等)	目標の達成状況・方策の取組状況 次年度への課題	※修正申請 進 成 度	行動プロセスに関する着眼点 ・校長及び教頭の指示を受け、その職務を整理し、校長等が判断・処理できようとしてまとめている。 ・企画委員会等の構成員として学校運営に積極的に参画している。 ・学校運営が組織的、機動的になされるよう、教職員の共通理解の下、積極的に各部署間の調整等に努めている。	所見・特記事項 (評価の理由を記すとともに、特筆すべき実績がある場合はその事実を記入する)	※修正申請 進 成 度	評価	修正理由	評価	
II 教科指導・ 生徒指導等											
III 担当する 校務等											
チーム ワー ク 行 動 記 入	I 段階 相手の立場や気持ちを理解し、日常的に円滑なコミュニケーションを取り組んでいる。 諸会議や職務遂行において、他の教職員の意見に耳を傾け協力して取り組んでいる。 教育活動等の進捗を継続するため、他の教職員から積極的に学ぶようしている。 直接担当する業務以外でも、気付いたことがあれば積極的に行動している。	II 段階 児童生徒の状況や校務に関する情報を共有し、積極的にコミュニケーションを図っている。 諸会議や職務遂行において、提案や改善に努め、意欲を持って主体的に取り組んでいる。 チームで協力して教育活動等の進捗の蓄積に取り組んでいる。 管理職や他の教職員、保護者等と協力・協働し、チームワークづくりを推進している。	III 段階 チームワーク行動に関わる情報や課題を共有し、積極的にコミュニケーションを図っている。 諸会議や職務遂行において、進んで合意形成を図りながら、職務を円滑に遂行している。	重点 チームワーク行動に関する着眼点 チームの取組等を他の教職員や保護者等に発信するなど、信頼関係づくりを推進している。 諸会議や職務遂行において、進んで合意形成を図りながら、職務を円滑に遂行している。 教育活動等の進捗を継続するため、他の教職員に対して進んで支援・助言を行っている。 広い視野から取組状況等を分析し、中長期的な視点で課題や対応方針を考えて行動している。	重点 チームワーク行動に関する着眼点 ・担当する校務の課題を的確に認識し、改善に向けて組織的、計画的に取り組んでいる。 ・教職員とのコミュニケーションを図り、適切に指導・助言している。 ・開かれた学校づくりに意欲的に取り組んでいる。 ・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。	重点 チームワーク行動における重点項目その他の取組状況	評価				

※ チームワーク行動については、当該年度に取り組むようとする重点項目2つに○を記入する。
 ※ 自己評価欄については、「実績」及び「行動プロセス」について、「行動プロセス」に関する着眼点を踏まえ、領域ごとに総合的に自己評価を行い、記入する。
 ※ 修正申請及び修正評価欄については、進捗状況申告及び自己評価が基準日前に行われた場合であって、基準日現在において状況が変わった場合に限り記載する。

令和 年度 自己評価シート

学校名	職名	氏名 (年齢)	職員番号	在職年数 (現所属)	年 ()
				キャリア段階	I II III

「目指す学校像」		目 標 及 び 実 績				行 動 プ ロ セ ス		自 己 評 価	
		当 初 申 告	達 成 状 況 申 告	進 成 度	進 成 度	所 見 ・ 特 記 事 項	評 価	修 正 理 由	評 価
I 学校の組織 的処置	今年度の目標	方 策 (目標達成に向けた具体的な手順や時期等)	目標の達成状況・方策の取組状況 次年度への課題	修正内容	修正申告	行動プロセスに関する着眼点	(評価の理由を記すとともに、特筆すべき実績がある場合はその事実を記入する)		
	■中間申告 [進捗状況の整理・目標の修正等]					・校長及び教員の指示を受け、その職務を整理し、校長等が判断・処理できようとりまとめられている。 ・企画委員会等の構成員として学校運営に積極的に参画している。 ・学校運営が組織的、機動的になされるよう、教職員の共通理解の下、積極的に各部署間の調整等に努めている。			
II 教科指導・ 生徒指導等	■中間申告 [進捗状況の整理・目標の修正等]					・授業の授業を図るため、常に教科研究に努めている。 ・幼児児童生徒の発達やニーズを踏まえて指導目標を設定し、年間を通して計画的に授業を進めている。 ・学年指導とある特定の知識・技能が理解され、幼児児童生徒の成長を促している。 ・指導の場面が一つひとつ図られ、学習指導の工夫・改善に努めている。 ・教育相談の対応に心がけ、個々の理解が深まらぬよう適切な生徒指導を行っている。 ・活動内容を指導方法を工夫し、幼児児童生徒の能力を高め、特性を尊重させている。 ・生徒の発展にむけ、卒業後の生活を考慮に入れた進路指導を行っている。 ・家庭や地域、関係機関と連携し、組織的な対応に努めている。			
	■中間申告 [進捗状況の整理・目標の修正等]					・担当する校務の課題を的確に認識し、改善に向けて取組むし、計画的に取り組んでいる。 ・教員としてのコミュニケーションを図り、適切に指導・助言している。 ・担当した学校づくりに意図的に取り組んでいる。 ・教育活動の推進として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。			
III 担当する 校務等	■中間申告 [進捗状況の整理・目標の修正等]					チームワーク行動に関する着眼点	重点	チームワーク行動における重点項目その他の取組状況	評価
	■中間申告 [進捗状況の整理・目標の修正等]					チームワーク行動に関する着眼点	重点	チームワーク行動における重点項目その他の取組状況	評価
チーム ワーク 行 動 (段 階 ご ち の 記 入 を 入 力 す る)	I 段階 相手の立場や気持ち等を理解し、日常的に円滑なコミュニケーションを取っている。 II 段階 相手の立場や気持ち等を理解し、日常的に円滑なコミュニケーションを取っている。 III 段階 相手の立場や気持ち等を理解し、日常的に円滑なコミュニケーションを取っている。	II 段階 児童生徒の状況や校務に携わる情報を共有し、積極的にコミュニケーションを取っている。 III 段階 児童生徒の状況や校務に携わる情報を共有し、積極的にコミュニケーションを取っている。	チームワーク行動に関する着眼点	重点	チームワーク行動に関する着眼点	重点	チームワーク行動における重点項目その他の取組状況	評価	
研 修	(目標・計画)	(成果・開題)				※ チームワーク行動については、当該年度に取り組もうとする重点項目2つに○を記入する。 ※ 自己評価欄については、「実績」及び「行動プロセス」について、「行動プロセス」に関する着眼点を踏まえ、領域ごとに総合的に自己評価を行い、記入する。 ※ 修正申告及び修正評価欄については、進捗状況申告及び自己評価が基準日前に行われた場合であっても、基準日現在において状況が変化した場合に限り記載する。			

令和 年度 自己評価シート

学校名	職名	氏名 (年齢)	職員番号	在職年数 (現所属)	年 ()
				キャリア段階	I II III

評価領域	目 標 及 び 実 績				行 動 プ ロ セ ス		自 己 評 価	
	当 初 申 告	達 成 状 況 申 告	進 成 度	進 成 度	修正内容	修正理由	評価	※修正評価
I 学校の組織的運営	今年度の目標 ■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]	目標の達成状況・方策の取組状況 次年度への課題	達成度	達成度	修正内容	行動プロセスに関する着眼点 ・校長及び要項の指示を受け、その職務を整理し、校長等と判断・処理できるようまとめている。 ・企画委員会等の構成員として学校運営に積極的に参加している。 ・学校運営が組織的、機動的になされるよう、教職員の共通理解の下、積極的に関係者の調整に努めている。		
II 保健管理・保健教育	■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]					・学校保健計画の作成と修正し、様々な機会を通じて健康・安全の指導に取り組んでいる。 ・保健に関する情報の収集と管理、把握に努めている。 ・日頃から、関係関係機関・相談機関等との連絡体制を整備している。 ・感染症や事故の予防、救急処置等の専門的知識・技術を有し、緊急事態に際して、冷静、的確に判断し、行動できるような実践的能力や態度を身に付けるよう指導に努めている。 ・保健室の課題がある児童生徒の指導について、保護者、家庭との連携を図り、適切な指導を行っている。 ・目標達成後の健康課題を様々な機会を通じて、家庭や地域へ啓蒙している。 ・保健学習への専門的助言、資料提供や教材作成の協力に努めている。		
III 担当する職務等	■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]					・担当する職務の課題を的確に認識し、改善に向けて組織的、計画的に取り組んでいる。 ・教職員とのコミュニケーションを図り、適切な指導・助言している。 ・開かれた学校づくりに意欲的に取り組んでいる。 ・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。		

チームワーク行動に関する着眼点	重点	III段階	チームワーク行動に関する着眼点	重点	チームワーク行動における重点項目その他の取組状況	評価
相手の立場や気持ちを理解し、日常的に円滑なコミュニケーションを取っている。 諸会議や職務遂行において、他の教職員の意見に耳を傾け協力して取り組んでいる。 教行活動等の経験を活かすため、他の教職員から積極的に学ぼうとしている。 直接担当する業務以外でも、気付いたことがあれば積極的に行動している。	重点 居座生使用状況や校務に携わる情報を共有し、積極的にコミュニケーションを思っている。 諸会議や職務遂行において、提案や改善に努め、意欲を持って主体的に取り組んでいる。 チームで協力して教行活動等の経験の蓄積に取り組んでいる。 管理職や他の教職員、保護者等と協力・協働し、チームワークづくりを推進している。	III段階	チームワーク行動に関する着眼点	重点 チームの取組等を中心に発信するなど、信頼関係づくりを推進している。 諸会議や職務遂行において、進んで合意形成を図りながら、職務を円滑に遂行している。	チームワーク行動における重点項目その他の取組状況	評価
(成果・課題)						

※ チームワーク行動については、当該年報に取り組みようとする重点項目2つに○を記入する。
 ※ 自己評価欄については、「実績」及び「行動プロセス」について、「行動プロセス」に関する着眼点」を
 踏まえ、簡潔に総合的に自己評価を行い、記入する。
 ※ 修正申告及び修正評価欄については、進捗状況申告及び自己評価が基準日前に行われた場合であって、
 基準日現在において状況が変わった場合に限り記載する。

令和 年度 自己評価シート

学校名	職名	氏名 (年齢)	職員番号	在職年数 (現所属)	年 () I II III
				キャリア段階	

評価領域		目 標 及 び 実 績				行 動 プ ロ セ ス		自 己 評 価	
		当 初 申 告	達 成 状 況 申 告	進 展 度	進 展 度	修正内容	修正程度	所見・特記事項 (評価の理由を記すとともに、特筆すべき実績がある場合はその事象を記入する)	評価 修正理由
I 学校の組織 的運営	今年度の目標 (目標達成に向けた具体的な手順や時期等) 方針 策 (目標達成に向けた具体的な手順や時期等)	目標の達成状況・方策の取組状況 次年度への課題	達成度 修正内容 修正程度	達成度 修正内容 修正程度	行動プロセスに関する着眼点 ・校長及び部員の指示を受け、その職務を整理し、校長等が判断・処理できるようとりまとめられている。 ・企画委員会等の構成員として学校運営に積極的に参画している。 ・学校運営が組織的、機動的になされるよう、教職員との共通理解の下、積極的に分業間の調整等に努めている。				
	■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]					・校長及び部員の指示を受け、その職務を整理し、校長等が判断・処理できるようとりまとめられている。 ・企画委員会等の構成員として学校運営に積極的に参画している。 ・学校運営が組織的、機動的になされるよう、教職員との共通理解の下、積極的に分業間の調整等に努めている。			
II 給食に関する 指導	今年度の目標 (目標達成に向けた具体的な手順や時期等)	目標の達成状況・方策の取組状況 次年度への課題	達成度 修正内容 修正程度	達成度 修正内容 修正程度	行動プロセスに関する着眼点 ・担当する校務の課題を的確に認識し、改善に向けて組織的、計画的に取り組んでいる。 ・教職員とのコミュニケーションを図り、適切な指導・助言している。				
	■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]								
III 担当する 校務等	今年度の目標 (目標達成に向けた具体的な手順や時期等)	目標の達成状況・方策の取組状況 次年度への課題	達成度 修正内容 修正程度	達成度 修正内容 修正程度	行動プロセスに関する着眼点 ・担当する校務の課題を的確に認識し、改善に向けて組織的、計画的に取り組んでいる。 ・教職員とのコミュニケーションを図り、適切な指導・助言している。				
	■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]								
チーム ワーク 行 動 (段階ご ○を 記入)	チームワーク行動に関する着眼点 相手の立場や気持ちを理解し、日常的に円滑なコミュニケーションを取っている。 諸会議や職務遂行において、他の教職員の意見に耳を傾け協力して取り組んでいる。 教育活動等の経験を継承するため、他の教職員から積極的に学ぼうとしている。 直接担当する業務以外でも、気付いたことからは積極的に行動している。	チームワーク行動に関する着眼点 児童生徒の状況や校務に関わる情報を共有し、積極的にコミュニケーションを取っている。 諸会議や職務遂行において、提案や改善に努め、意欲を持って主体的に取り組んでいる。 チームで協力して教育活動等の経験を蓄積に取り組んでいる。 管理職や他の教職員、保護者等と協力・協働し、チームワークづくりを推進している。	重点 チームワーク行動に関する着眼点 チームの重組等や他の教職員や保護者等に発信するなど、信頼関係づくりを推進している。 諸会議や職務遂行において、進んで合意形成を図りながら、職務を円滑に遂行している。	重点 チームワーク行動に関する着眼点 チームの重組等や他の教職員や保護者等に発信するなど、信頼関係づくりを推進している。 諸会議や職務遂行において、進んで合意形成を図りながら、職務を円滑に遂行している。	チームワーク行動に関する着眼点 チームの重組等や他の教職員や保護者等に発信するなど、信頼関係づくりを推進している。 諸会議や職務遂行において、進んで合意形成を図りながら、職務を円滑に遂行している。	重点 チームワーク行動に関する着眼点 チームの重組等や他の教職員や保護者等に発信するなど、信頼関係づくりを推進している。	チームワーク行動に関する着眼点 チームの重組等や他の教職員や保護者等に発信するなど、信頼関係づくりを推進している。	チームワーク行動に関する着眼点 チームの重組等や他の教職員や保護者等に発信するなど、信頼関係づくりを推進している。	重点 チームワーク行動に関する着眼点 チームの重組等や他の教職員や保護者等に発信するなど、信頼関係づくりを推進している。
研 修	(目標・計画)	(成果・課題)	※ チームワーク行動については、当該年度に取り組むようとする重点項目2つに○を記入する。 ※ 自己評価欄については、「評価」及び「行動プロセス」について、「行動プロセス」に関する欄を、踏まえ、領域ごとに総合的に自己評価欄については、達成状況申告及び自己評価の基幹日前行った場合であって、基準日現在において状況が変わった場合に限り記載する。						

令和 年度 自己評価シート

学校名	職名	氏名 (年齢)	職員番号	在職年数 (現所属)	年 () I II III
				キャリア段階	

評価領域	目 標 及 び 実 績		行 動 プ ロ セ ス		自 己 評 価	
	当 初 申 告	達 成 状 況 申 告	※修正申告	行動プロセスに関する着眼点	所見・特記事項	※修正評価
I 教科指導等 指導計画の 作成・生徒 学習指導と 評価	今年度の目標 (目標達成に向けた具体的な手順や時期等)	目標の達成状況 次年度への課題	修正内容 達成度	行動プロセスに関する着眼点 ・学習指導計画を基とし、児童の課題に即した指導計画を作成している。 ・授業の充実に努めている。 ・授業の充実に基づき、年間を通じて計画的に授業を進めている。 ・日頃から指導計画を見直し、その工夫・改善に努めている。 ・児童に対する声かけ、板書などが適切で、授業の円滑に実施されている。 ・児童の学習状況を把握し、個に応じた指導・支援を行っている。 ・指導方法や指導内容を工夫して、児童の主体的な学習活動を促している。 ・指導と評価の一体化を図り、指導の改善や児童の学習意欲の向上に努めている。 ・必要に応じて教習活動自体を通じて、道徳教育の充実に努めている。	所見・特記事項 (評価の理由を記する。ともに、特筆すべき実績がある場合にはその事実を記入する)	※修正理由 評価
II 学年・学級 経営・生徒 指導等	■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]			・児童が協力してよりよい生活を築こうとする自主的、主体的態度を育成している。 ・学級・学年運営を適切に指導するとともに、児童一人一人の上さを生かしている。 ・教育者同士の対話に基づき、児童理解に努めながら適切な生徒指導を行っている。 ・教員間で学年運営上の課題を共有するなど、相互理解に努めている。 ・家庭や地域との情報交換を行い、連携して指導している。		
III その他の 校務等 校務分掌等	■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]			・校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 ・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 ・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 ・教育公務員として、高い自覚をもち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。		
チーム ワーク 行 動 段 階 記 入	チームワーク行動に関する着眼点 相手の立場や気持ちを理解し、日常的に円滑なコミュニケーションを取り組んでいる。 諸会議や職務遂行において、他の教職員の意見に耳を傾け協力して取り組んでいる。 教育活動等の役割を継承するため、他の教職員から積極的に学ぼうとしている。 直接担当する業務以外でも、気付いたことがあれば積極的に行動している。	チームワーク行動に関する着眼点 チームワーク行動に関わる情報を共有し、積極的にコミュニケーションを取っている。 諸会議や職務遂行において、提案や改善に努め、意欲を持って主体的に取り組んでいる。 チームで協力して教育活動等の役割の分担に取り組んでいる。 管理職や他の教職員、保護者等と協力・協働し、チームワークづくりを推進している。	III段階 チームの取組等を他の教職員や保護者等に発信するなど、信頼関係づくりを推進している。 諸会議や職務遂行において、進んで合意形成を図りながら、職務を円滑に遂行している。 教育活動等の役割を継承するため、他の教職員に対して進んで支援・助言を行っている。	チームワーク行動に関する着眼点 重点	チームワーク行動における重点項目その他の取組状況	評価

※ チームワーク行動については、当該年度に取り組もうとする重点項目 2 つに○を記入する。
 ※ 自己評価欄については、「実績」及び「行動プロセス」について、「行動プロセス」に関する着眼点を
 踏まえ、御誠ごとして総合的に自己評価を行い、記入する。
 ※ 修正申告及び修正評価欄については、進捗状況申告及び自己評価が基準日前に行われた場合であって、
 基準日現在において状況が変わった場合に限り記載する。

令和 年度 自己評価シート

学校名	職名	氏名 (年齢)	職員番号	在職年数 (現所属)	年 ()
				キャリア段階	I II III

評価領域	目 標 及 び 実 績				行 動 プ ロ セ ス		自 己 評 価		
	当 初 申 告	達 成 状 況 申 告	※修正申告	達成度	修正内容	達成度	所見・特記事項 (評価の理由を記すとともに、特筆すべき実績がある場合はその事実を記入する)	評価 ※修正理由	評価
I 教科指導等 指導計画の 作成・改善 学習指導と 評価	今年度の目標 ■中間申告 [進捗状況の整理・目標の修正等]	目標の達成状況・方策の取組状況 次年度への課題	達成度	達成度	修正内容	達成度	行動プロセスに関する着眼点 ・学習指導要領を踏まえ、生徒の課題に即した指導計画を作成している。 ・授業の充実を図るため、常に教務研究に努めている。 ・適切な指導計画に基づき、年間を通じて計画的に授業を進めている。 ・日頃から指導計画を見直し、その工夫・改善に努めている。 ・生徒に対する発問、指示、板書等が適切で、授業の円滑に図られている。 ・生徒一人一人の学習状況を把握し、個に応じた指導・支援を行っている。 ・指導方法や指導態度を工夫して、生徒の主体的な学習活動を展開している。 ・指導と評価の一体化を図り、指導の改善や生徒の学習意欲の向上に努めている。		
II 学年・学級経営 等 学年・学級経営 等、生徒指導 、進路指導 等	■中間申告 [進捗状況の整理・目標の修正等]						・集団や社会の一員としての自覚を養い、望ましい生活習慣を育成している。 ・教員間で学年運営上の課題を共有するなど、相互理解に努めている。 ・教育目標的な対応に心がけ、生徒理解に努めながら適切な生徒指導を行っている。 ・生徒一人一人の特性を考慮に入れた進路指導を行っている。 ・家庭や地域と情報交換を行い、連携して指導している。		
III その他の 校務等	■中間申告 [進捗状況の整理・目標の修正等]						・校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を見込んでいる。 ・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 ・保護者や地域と連携し、期待された学校づくりを推進している。 ・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。		

チームワーク行動に関する着眼点	重点	III段階	重点	チームワーク行動に関する着眼点	重点	チームワーク行動における重点項目その他の取組状況	評価
相手の立場や気持ちから理解し、日常的に円滑なコミュニケーションを取っている。 諸会議や職務遂行において、他の教職員の意見に耳を傾け協力して取り組んでいる。 教育活動等の経緯を確実にするため、他の教職員から積極的に苦言として直接担当する業務以外でも、気付いたことがあれば積極的に行動している。	チームワーク行動に関する着眼点	II段階	重点	チームワーク行動に関する着眼点	重点		
	チームワーク行動に関する着眼点	I段階	重点	チームワーク行動に関する着眼点	重点		

※ チームワーク行動については、当該年度に取り組みようとする重点項目2つに○を記入する。
 ※ 自己評価欄については、「実績」及び「行動プロセス」について、「行動プロセス」に関する着眼点を
 添え、評価欄ごとに総合的に自己評価を行い、記入する。
 ※ 修正申告及び修正評価欄については、達成状況申告及び自己評価が基準日前に行われた場合であって、
 基準日現在において状況が変わった場合に限り記載する。

令和 年度 自己評価シート

学校名	職名	氏名 (年齢)	職員番号	在職年数 (現所属)	年 ()
				キャリア段階	I II III

評価領域	目 標 及 び 実 績		行 動 プ ロ セ ス		自 己 評 価	
	当 初 申 告	達 成 状 況 申 告	※修正申告	行 動 プ ロ セ ス 関 する 着 眼 点	所 見 ・ 特 記 事 項	※修正評価
I 教科指導等 授業計画の 作成・生徒 学習指導と 評価	今年度の目標 (目標達成に向けた具体的な手段や時期等)	目標の達成状況 次年度への課題	修正内容 達成度	行動プロセスに関する着眼点 ・生徒の興味や教科・科目等の系統性を確保した年間指導計画案を作成している。 ・授業の形式を工夫するため、例に教科種別ご説明している。 ・学習指導要領を踏まえ、適切な指導目標を設定している。 ・適切な指導計画のもと、年間を通じて計画的に授業を進めている。 ・生徒の興味に即した指導が受けられ、学習状況の把握、支援などが適切である。 ・教科・科目に関する専門的知識・技能が活用され、生徒の理解を促進している。 ・生徒一人一人の学習状況を把握し、学習指導の工夫・改善に努めている。	評価理由 評価	修正理由 評価
	■中間申告 [進捗状況の整理・目標の修正等]		達成度			
II 学年・HR 経営・生徒 指導等 学年・ホーム ルーム経営、 生徒指導、進 路指導、特別 活動等	今年度の目標 (目標達成に向けた具体的な手段や時期等)	目標の達成状況 次年度への課題	修正内容 達成度	行動プロセスに関する着眼点 ・教員間で学年運営上の課題を共有するなど、相互理解を努めている。 ・教育相対的な対応心がけ、生徒理解に努めながら適切な生徒指導を行っている。 ・生徒の実態に応じ、進捗状況ができるよう適切に支援している。 ・学校・学年行事等を通じて、生徒の自主性・自律性を育てる指導を行っている。 ・家庭や地域と情報交換を行い、連携して指導している。	評価理由 評価	修正理由 評価
	■中間申告 [進捗状況の整理・目標の修正等]		達成度			
III その他の 校務等 校務分掌等	今年度の目標 (目標達成に向けた具体的な手段や時期等)	目標の達成状況 次年度への課題	修正内容 達成度	行動プロセスに関する着眼点 ・校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 ・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 ・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 ・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。	評価理由 評価	修正理由 評価
	■中間申告 [進捗状況の整理・目標の修正等]		達成度			

※ チームワーク行動においては、当該年度に取り組むようとする重点項目 2 つに○を記入する。
 ※ 自己評価欄については、「実績」及び「行動プロセス」について、「行動プロセス」に関する評価を
 踏まえ、御城ごとに総合的に自己評価を行い、記入する。
 ※ 修正申告及び修正評価欄については、達成状況申告及び自己評価が基準日前に行われた場合であって、
 基準日現在において状況が変わった場合に限り記載する。

令和 年度 自己評価シート

学校名	職名	氏名 (年齢)	職員番号	在職年数 (現所属)	年 () I II III
		(歳)		キャリア段階	

評価領域	目 標 及 び 実 績				行 動 プ ロ セ ス		自 己 評 価	
	当 初 申 告	達 成 状 況 申 告	※修正申告	達成度	達成度	修正内容	修正理由	評価
I 教科指導等 指導計画の 作成・評価 学習指導と 評価	今年度の目標 (目標達成に向けた具体的な手順や時期等)	目標の達成状況・方策の取組状況 次年度への課題	達成度	達成度	修正内容	達成度	修正理由	評価
II 学部・学年・ 学級経営・生 徒指導等	■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]							
III その他の 校務等	■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]							
校務分掌等								
チーム ワー ク 行 動 段 階 ○を 記入	I 段階 相手の立場や気持ちを理解し、目標が円滑なコミュニケーションを取っている	II 段階 児童生徒の状況や校務に開ける情報を共有し、積極的なコミュニケーションを取っている	III 段階 諸会議や職務遂行において、他の教職員の意見に耳を傾け協力して取り組んでいる	重点 チームワーク行動に関する着眼点	重点 チームの取組等を他の教職員や保護者等に発信するなど、信頼関係づくりに推進している	重点 チームワーク行動に関する着眼点	重点 チームワーク行動における重点項目その他の取組状況	重点 チームワーク行動に関する着眼点
研 修	(目標・計画)				(成果・取組)			

※ チームワーク行動については、当該年度に取り組もうとする重点項目2つに○を記入する。
 ※ 自己評価欄については、「実績」及び「行動プロセス」について、「行動プロセス」に関する着眼点を
 随筆、達成ごとに総合的に自己評価を行い、記入する。
 ※ 修正申告及び修正評価欄については、達成状況申告及び自己評価が基準日前に行われた場合であって、
 基準日現在において状況が変わった場合に限り記載する。

令和 年度 自己評価シート

学校名	職名	氏名 (年齢)	職員番号	在職年数 (現所属)	年 () I II III
				キャリア段階	

評価領域	目 標 及 び 実 績				行 動 プ ロ セ ス		自 己 評 価		
	当 初 申 告	達 成 状 況 申 告	進 成 度	進 成 度	修正内容	修正申告	達成度	所見・特記事項 (評価の理由を記すとともに、特筆すべき実績がある場合はその事実を記入する)	評価 修正理由 評価
I 教科指導等 指導計画の 作成・改善 学習指導と 評価	今年度の目標 ■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]	目標の達成状況・方策の取組状況 次年度への課題	達成度	達成度	修正内容	修正申告	達成度	行動プロセスに関する着眼点 ・学習指導要領を踏まえ、児童の理解に即した指導計画を作成している。 ・児童の理解を促すため、他の教諭と連携しながら常に教材研究を行っている。 ・進捗や学習計画に基づき、年間を通じて計画的に授業を通じて、児童の理解を促し、その工夫・改善・努力について、日頃から指導計画を見直し、その工夫・改善・努力について、児童に対する声かけ、指示、板書などが適切で、授業の円滑な進行に努めている。 ・児童一人ひとりの学習状況を把握し、個に応じた指導・支援を行っている。 ・児童の理解を促すため、他の教諭と連携しながら指導計画の作成・改善を行っている。 ・児童の理解を促すため、他の教諭と連携しながら指導計画の作成・改善を行っている。 ・児童の理解を促すため、他の教諭と連携しながら指導計画の作成・改善を行っている。	
II 学年・学級経営 営・生徒指導 等	■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]							・児童が協力してよりよい生活を築こうとする自主的、主体的態度を育成している。 ・学級・学年集団を適切に指導するとともに、児童一人一人のよさを生かしている。 ・教育相談的な対応に心がけ、他の教諭と連携しながら児童の理解に努めながら適切な生徒指導を行っている。 ・教員間で学年運営上の課題を共有するなど、相互理解を努めている。 ・家庭や地域との情報交換を行い、連携して指導している。	
III その他の 校務等 校務分掌等	■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]							・校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 ・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 ・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 ・教育公務員として、高い自尊を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。	

チームワーク行動	I 段階 相手の立場や気持ちを理解し、日常的に円滑なコミュニケーションを取っている。 諸会議や職務遂行において、他の教諭の意見に耳を傾け協力して取り組んでいる。 教育活動等の理解を確保するため、他の教諭から積極的に学ぼうとしている。	II 段階 児童生徒の状況や校務に関する情報を共有し、積極的にコミュニケーションを取っている。 諸会議や職務遂行において、提案や改善に努め、意欲を持って主体的に取り組んでいる。 チームで協力して教育活動等の理解の蓄積に取り組んでいる。	III 段階 チームの取組等を他の教諭や保護者等に発信するなど、信頼関係づくりを推進している。 諸会議や職務遂行において、進んで合意形成を図りながら、職務を円滑に遂行している。 教育活動等の理解を確保するため、他の教諭に対して進んで支援・助言を行っている。 広い視野から取組状況等を分析し、中長期的な視点で課題や対応方針を考えて行動している。	重点 チームワーク行動に関する着眼点 ・チームの取組等を他の教諭や保護者等に発信するなど、信頼関係づくりを推進している。 ・諸会議や職務遂行において、進んで合意形成を図りながら、職務を円滑に遂行している。 ・教育活動等の理解を確保するため、他の教諭に対して進んで支援・助言を行っている。	重点 チームワーク行動における重点項目その他の取組状況
研修	※ チームワーク行動については、当該年度に取り組もうとする重点項目 2 つに○を記入する。 ※ 自己評価欄については、「実績」及び「行動プロセス」について、「行動プロセス」に関する着眼点を踏まえ、御誠ごとして総合的に自己評価を行い、記入する。 ※ 修正申告及び修正評価欄については、進捗状況申告及び自己評価が基準日前に行われた場合であって、基準日現在において状況が変わった場合に限り記載する。				

令和 年度 自己評価シート

学校名	職名	氏名 (年齢)	職員番号	在職年数 (現所属)	年 () I II III
				キャリア段階	

評価領域	目 標 及 び 実 績		行 動 プ ロ セ ス		自 己 評 価	
	当 初 申 告	達 成 状 況 申 告	達 成 度	達 成 度	所見・特記事項 (評価の理由を記するとも に、特筆すべき実績がある場合 はその事案を記入する)	評価 ※修正評価 修正理由 評価
I 教科指導等 指導計画の 作成・生徒 学習指導と 評価	今年度の目標 (目標達成に向けた具体的な手順や時期等)	目標の達成状況 次年度への課題	達成度	達成度	・生徒の理解や教科・科目等の系統性を踏まえた年間指導計画等を作成している。 ・授業の充実を図るため、他の教諭と連携しながら常に教材研究に努めている。 ・学習指導要領を踏まえ、適切な指導目標を設定している。 ・適切な指導計画のもと、年間化を通じて計画的に授業を進めている。 ・生徒の理解に即した指導が行われ、学習意欲の把握、支援などが適切である。 ・教科・科目に関する知識・技能が活かし、生徒の理解を地通している。 ・生徒一人一人の学習状況を把握し、学業上のための支援を行っている。 ・指導と評価の一体化が図られ、他の教諭と連携しながら学習指導の工夫・改善に努めている。	
	■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]				・教員間で学年運営上の課題を共有するなど、相互理解に努めている。 ・教育相談等が対応し、生徒理解に努めながら適切な生徒指導を行っている。 ・生徒の理解に応じ、他の教諭と連携しながら進路選択ができるよう適切に支援している。 ・学校・学年行事等を通じて、生徒の自主性・自律性を育てる指導を行っている。 ・家庭や地域と情報交換を行い、連携して指導している。	
II 学年・HR 経営・生徒 指導等	今年度の目標 (目標達成に向けた具体的な手順や時期等)	目標の達成状況 次年度への課題	達成度	達成度	・校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 ・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 ・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 ・教育公務員として、高い自覚をもち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。	
	■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]				・校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 ・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 ・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 ・教育公務員として、高い自覚をもち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。	
III その他の 校務等	今年度の目標 (目標達成に向けた具体的な手順や時期等)	目標の達成状況 次年度への課題	達成度	達成度	・校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 ・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 ・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 ・教育公務員として、高い自覚をもち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。	
	■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]				・校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 ・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 ・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 ・教育公務員として、高い自覚をもち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。	
チームワーク行動	チームワーク行動に関する新視点	チームワーク行動に関する新視点	重点	重点	チームワーク行動における重点項目その他の進捗状況	評価
I 段階 相手の立場や気持ちを理解し、日常的に円滑なコミュニケーションを取っている。 諸会議や職務遂行において、他の教諭の意見に耳を傾け協力して取り組んでいる。 教育活動等の進捗を継続するため、他の教諭から積極的に学ぼうとしている。	重点	重点	重点	重点	重点	
	II 段階 児童生徒の状況や校務に携わる情報を共有し、積極的にコミュニケーションを取っている。 諸会議や職務遂行において、提案や改善に努め、意欲を持って主体的に取り組んでいる。 チームで協力して教育活動等の進捗の蓄積に取り組んでいる。	重点	重点	重点	重点	重点
II 段階 児童生徒の状況や校務に携わる情報を共有し、積極的にコミュニケーションを取っている。 諸会議や職務遂行において、提案や改善に努め、意欲を持って主体的に取り組んでいる。 チームで協力して教育活動等の進捗の蓄積に取り組んでいる。	重点	重点	重点	重点	重点	
	III 段階 チームの取組等を他の教諭や保護者等に発信するなど、信頼関係づくりを推進している。 諸会議や職務遂行において、進んで進捗形成を図りながら、職務を円滑に遂行している。 教育活動等の進捗を伝承するため、他の教諭に対して進んで支援・助言を行っている。 広い視野から取組状況等を分析し、中長期的な視点で課題や対応方針を考え、行動している。	重点	重点	重点	重点	重点

※ チームワーク行動については、当該年度に取り組もうとする重点項目 2 つに○を記入する。
 ※ 自己評価欄については、「実績」及び「行動プロセス」について、「行動プロセス」に関する欄を
 踏まえ、領域ごとに総合的に自己評価を行い、記入する。
 ※ 修正申告及び修正評価欄については、進捗状況申告及び自己評価が基準日前に行われた場合であって、
 基準日現在において状況が変わった場合に限り記載する。

令和 年度 自己評価シート

学校名	職名	氏名 (年齢)	職員番号	在職年数 (現所属)	年 () I II III
				キャリア段階	

評価領域	目 標 及 び 実 績				行動プロセス		自 己 評 価	
	当 初 申 告	達 成 状 況 申 告	※修正申告	達成度	修正内容	達成度	所見・特記事項 (評価の理由を記すとともに、特筆すべき実績がある場合はその事案を記入する)	評価 ※修正評価 修正理由 評価
I 教科指導等 指導計画の 作成・指導 学習指導と 評価	今年度の目標 (目標達成に向けた具体的な手順や時期等)	目標の達成状況 次年度への課題	達成度	達成度	修正内容	達成度	行動プロセスに関する着眼点 ・保護者や関係機関と連携し、幼児児童生徒一人一人の障害の水準及び発達段階や特性等に応じた具体的な指導計画の作成に取り組んでいる。 ・他者の教諭と連携しながら常に教材研究に努めている。 ・幼児児童生徒の興味やニーズを踏まえて指導目標を設定し、年間を通して計画的に授業を進めている。 ・保護者と連携しながら、適正な指導計画を見直し、工夫・改善を図っている。 ・教員の仕事等により、幼児児童生徒の学習意欲を高める。 ・幼児児童生徒の達成感に即した指導が行われ、指導内容は適切である。 ・学習指導に関する知識・技能が活用され、幼児児童生徒の理解を促進している。 ・他者の教諭と連携しながら学習指導の工夫・改善に努めている。	
II 学部・学年・学級経営・生徒指導等 学部・学年・学級経営、生徒指導、進路指導、特別活動等	■中間申告 ①進捗状況の整理・目標の修正等						・教員間で学部・学年運営上の課題を共有するなど、相互理解に努めている。 ・教育種別が異なるが、個々の理解に努めながら適切な生徒指導を行っている。 ・活動内容や指導方法を工夫し、幼児児童生徒の能力を高め、特性を發揮させている。 ・生徒の実態に応じ、卒業後の生活を考慮に入れた進路指導を行っている。 ・家庭や地域、関係機関と連携し、組織的に取り組んでいる。	
III その他の 校務等 校務分掌等	■中間申告 ①進捗状況の整理・目標の修正等						・校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 ・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 ・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 ・教育公務員として、高い自尊を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。	
チームワーク行動 (段階ごとの記入)	チームワーク行動に関する着眼点 相手の立場や気持ちを理解し、日常的に円滑なコミュニケーションを取り取り組んでいる。 議会議や職務遂行において、他の教職員の意見に耳を傾け協力して取り組んでいる。 教育活動等の業務を継承するため、他の教職員から積極的に学ぼうとしている	チームワーク行動に関する着眼点 チームワークに関わる情報共有し、積極的なコミュニケーションを取り組んでいる。 提案や改善に努め、意欲を持って主体的に取り組んでいる。 チームで協力して教育活動等の業務に取り組んでいる	チームワーク行動に関する着眼点 チームの取組等を他の教職員や保護者等に発信するなど、信頼関係づくりを推進している。 議会議や職務遂行において、進んで合意形成を図りながら、職務を円滑に遂行している。 教育活動等の業務を継承するため、他の教職員に対して進んで支援・助言を行っている。	重点 チームワークづくり	重点 チームワークづくり	重点 チームワーク行動に関する着眼点 信頼関係づくりを推進している。 議会議や職務遂行において、進んで合意形成を図りながら、職務を円滑に遂行している。 教育活動等の業務を継承するため、他の教職員に対して進んで支援・助言を行っている。	重点 チームワーク行動における重点項目その他の取組状況	評価
研修	(目標・計画)	(結果・課題)						※ チームワーク行動については、当該年度に取り組むようとする重点項目 2 つに○を記入する。 ※ 自己評価欄については、「実績」及び「行動プロセス」について、「行動プロセス」に関する着眼点を 踏まえ、領域ごと総括的に自己評価を行い、記入する。 ※ 修正申告及び修正評価欄については、達成状況申告及び自己評価が基準日前に行われた場合であって、 基準日現在において状況が変わった場合に限り記載する。

令和 年度 自己評価シート

学校名	職名	氏名 (年齢)	職員番号	在職年数 (現所属)	年 ()
				キャリア段階	I II III

評価領域	目 標 及 び 実 績				行 動 プ ロ セ ス		自 己 評 価	
	当 初 申 告	達 成 状 況 申 告	進 成 度	進 成 度	修正内容	修正申告	評価	※修正理由
I 保健管理 保健室運営 救急処置・学 校環境衛生	今年度の目標 ■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]	方針策 (目標達成に向けた具体的な手順や時期等)	目標の達成状況・方策の取組状況 次年度への課題	達成度	修正内容	修正申告	行動プロセスに関する着眼点	(評価の理由を記すとともに、特筆すべき実績がある場合にはその事項を記入する)
II 保健教育 保健指導・ 保健学習	■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]						<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健委員の育成に参画し、他の教諭と連携しながら健康安全の指導に取り組んでいる。 ・保健に関する情報の収集と管理、相談に努めている。 ・職務の分担や採点等の機能を生かした連携体制を行っている。 ・保健師の準備、実施、結果に基づく措置を適切に行っている。 ・日常における児童生徒活動の充実に努めるため、学級担任等に適切な協力や助言に努めている。 ・児童生徒の心身の発達状況・健康上の課題に関する情報を適切に管理している。 ・保健室の環境整備、相談記録簿等の連携体制の整備を図っている。 ・感染症や虐待の予防、緊急処置等の必要な知識・技術を有し、緊急事態に対して、冷静、的確に対応できる。 ・児童生徒の自ら健康課題について考え、判断し、行動できるような実践的な能力や態度を身に付けるよう担任と連携しながら指導に努めている。 ・健康上の課題がある児童生徒の指導について、保護者、家庭との連絡を密にし、協力体制を形成している。 ・児童生徒の健康課題について、家庭や地域への啓発に努めている。 ・保健学習への助言、資料提供や教材作成等の協力を果たしている。 	
III その他の 校務等 校務分掌等	■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]						<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 ・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 ・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 ・教育公務員として、高い自尊を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。 	
チームワーク 行動 記入	チームワーク行動に関する着眼点 相手の立場や気持ちを理解し、日常的に円滑なコミュニケーションを取り、他の教職員の意見に耳を傾け協力して取り組んでいる。 教育活動等の取組を継続するため、他の教職員から積極的に学ぼうとしている。 直接担当する業務以外でも、気付いたことがあれば積極的に行動している	チームワーク行動に関する着眼点 チームワーク行動に関する情報共有し、積極的にコミュニケーションを取り、積極的なコミュニケーションを取っている。 提案や改善について、提案や改善に努め、意欲を持って主体的に取り組んでいる。 チームで協力して教育活動等の取組に取り組んでいる	重点	重点	III段階 チームワーク行動に関する着眼点 チームの取組等を他の教職員や保護者等に発信するなど、信頼関係づくりを推進している。 諸会議や職務遂行において、進んで合意形成を図りながら、職務を円滑に遂行している。 教育活動等の取組を伝承するため、他の教職員に対して進んで支援・助言を行っている。	重点	チームワーク行動における重点項目その他の取組状況	評価

※ チームワーク行動については、当該年度に取り組みするとする重点項目2つに○を記入する。
 ※ 自己評価欄については、「実績」及び「行動プロセス」について、「行動プロセス」に関する着眼点を踏まえ、領域ごとに総合的に自己評価を行い、記入する。
 ※ 修正申告及び修正評価欄については、達成状況申告及び自己評価が基準日前に行われた場合であって、基準日現在において状況が変わった場合に限り記載する。

令和 年度 自己評価シート

学校名	職名	氏名 (年齢)	職員番号	在職年数 (現所属)	年 ()
				キャリア段階	I II III

評価領域	目 標 及 び 実 績				行 動 プ ロ セ ス		自 己 評 価	
	当 初 申 告	達 成 状 況 申 告	※修正内容	※修正程度	行動プロセスに関する着眼点	所見・特記事項	評価	※修正理由
I ()	<p>今年度の目標 (目標達成に向けた具体的な手帳や時期等)</p> <p>■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]</p>	<p>目標の達成状況・方策の取組状況 次年度への課題</p>	<p>修正内容</p>	<p>達成度</p>	<p>1. 知識・情報 ・新卒研修や収集に努めている。また、習得した知識や情報を共有している。 ・担当業務に關して必要となる一般的な知識や基本的なノウハウを有している。 ・職務に關する情報を積極的に収集し、必要に応じて担当業務に活用している。 ・組織の方針や上司の指示に沿って、業務遂行に必要な判断・判断標準への十分な理解や交渉を行い、進捗調整や手続きのもとに担当業務を的確に処理している。 ・校長・副校長・教務主任・担任・担任助手とともに、職員間で連絡・調整を行い、協働性として課題を克服させている。 3. 迅速性、機動性 ・業務方針出来事にも迅速に情報収集や報告・連絡を行っている。 ・日常の業務遂行の中で、起こりうる問題を特定し、対策を講じている。 ・組織の方針や上司の指示を受けて、機動的に行動している。 ・組織の方針や上司の指示に沿って職務で連携・協力し、問題の拡大や業務の停滞を防止している。 4. 取組姿勢 ・組織の方針を踏まえ、課題解決に向けた具体的な方策やスケジュールを提示し、進捗調整や交渉を行い、進捗調整や手続きのもとに担当業務を的確に処理している。 ・社会全体の動向や職員のニーズの把握に努めている。 ・新しい発想を持って職務改善に取り組んでいる。 ・公務員としての誇り・自覚を持ち、雇用の適正や公正を重んじた行動をとっている。 ・困難な課題を先送りせず、課題解決や困難解決に向け、積極的かつ迅速に行動し、説明を行っている。 ・職務を自覚し、問題意識を持って前向きに取り組んでいる。 ・責任感 ・困難業務のみなならず、通常業務においても熱意をもって着実に進めている。 ・困難な課題に直面しても責任を回避することなく、組織の方針や上司の指示に沿って取り組む姿勢を持って対応している。 7. 中期から長期的な視点で責任を持ってやり遂げている。 ・上司・組織との十分な意思疎通を図るとともに、士気を高める一助となっており、職務に積極的に取り組んでいる。 ・職員とのコミュニケーションの円滑化を図り、能力等を把握し、その能力の伸張が図られるように適切な指導・助言している。</p>	<p>(評価の理由を記すとともに、特筆すべき実績がある場合はその事実を記入する)</p>		
II ()	<p>■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]</p>							
III ()	<p>■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]</p>							
その他の 校務等								
チームワーク行動に関する着眼点	チームワーク行動に関する着眼点	チームワーク行動に関する着眼点	重点	重点	チームワーク行動に関する着眼点	重点	チームワーク行動に関する着眼点	重点
チームワーク行動	相手の立場や気持ち等を理解し、日常的に円滑なコミュニケーションを取っている	児童生徒の状況や校務に關する情報を共有し、積極的にコミュニケーションを取っている			チームワーク行動に関する着眼点	重点	チームワーク行動に関する着眼点	重点
段階に ○を 記入	諸会議や職務遂行において、他の教職員の意見に耳を傾け協力して取り組んでいる	諸会議や職務遂行において、提案や改善に努め、意図を持って主体的に取り組んでいる			諸会議や職務遂行において、進んで達成形成を図りながら、職務を円滑に実行している		諸会議や職務遂行において、進んで達成形成を図りながら、職務を円滑に実行している	
研修	教育活動等の経験を通じて、他の教職員から積極的に学ぼうとしている	チームで協力して教育活動等の経験の蓄積に取り組んでいる			教育活動等の経験を伝承するため、他の教職員に対して進んで支援・助言を行っている		教育活動等の経験を伝承するため、他の教職員に対して進んで支援・助言を行っている	
	直接担当する業務以外でも、気付いたことなどは積極的に行動している	管理職や他の教職員、保護者等と協力・協働し、チームワークづくりを推進している			広い視野から取組状況を分析し、中長期的な視点で課題や対応方針を考えて行動している		広い視野から取組状況を分析し、中長期的な視点で課題や対応方針を考えて行動している	

※ チームワーク行動については、当該年度に取り組もうとする重点項目 2 つに○を記入する。
 ※ 自己評価欄については、「実績」及び「行動プロセス」について、「行動プロセス」に関する着眼点を踏まえ、領域ごとに総合的に自己評価を行い、記入する。
 ※ 修正申告及び修正評価欄については、進捗状況報告及び自己評価が基準日前に行われた場合であって、基準日現在において状況が変った場合に限り記載する。

令和 年度 自己評価シート

学校名	職名	氏名 (年齢)	職員番号	在職年数 (現所属)	年 ()
				キャリア段階	I II III

評価領域	目 標 及 び 実 績				自 己 評 価	
	当 初 申 告	達 成 状 況 申 告	※修正申告	修正内容	※修正理由	評価
I ()	今年度の目標 (目標達成に向けた具体的な手帳や時期等)	目標の達成状況・方策の取組状況 次年度への課題	達成度	達成度	行動プロセスに関する着眼点	(評価の理由を記すとともに、特筆すべき実績がある場合はその事実を記入する)
	■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]				1. 知識・情報 ・新卒研修や収集に努めている。また、習得した知識や情報を共有している。 ・担当業務に関して必要となる一般的な知識や基本的なノウハウを有している。 ・職務に関する情報を取捨選択し、必要に応じて担当業務に活用している。 2. 組織の方針や上司の指示に沿って、業務遂行に必要な判断を的確に行っている。 ・関係機関との連絡調整や手続きのもとに担当業務を的確に処理している。 3. 迅速性・積極性 ・業務の進捗状況も迅速に情報収集や報告・連絡を行っている。 ・日常の業務遂行の中で、起こりうる問題を特定し、対策を講じている。 ・組織の方針や上司の指示を受けて、積極的に行動している。 ・組織の発展や業務の効率化に貢献している。 4. 取組姿勢 ・組織の方針を踏まえ、課題達成に向けた具体的な方策やスケジュールを策定し、進捗を把握している。 ・社会の状況やニーズの変化に対応している。 ・新しい発想を持って職務に取り組んでいる。 ・公務員としての誇り・自覚を持ち、組織の運営や公正を重んじて行動している。 5. 困難な課題を先送りせず、課題解決や情報収集に向け、積極的に行動し、対応を行っている。 ・職務を自覚し、問題意識を持って前向きに取り組んでいる。 ・責任感 ・困難業務のみなならず、通常業務においても熱意をもって取り組んでいる。 ・困難な課題に直面しても責任を回避することなく、組織の方針や上司の指示に沿って取り組む姿勢を持って対応している。 7. 中期から長期的な視点で責任を持って取り組んでいる。 8. 上司や同僚との十分な意思疎通を図るとともに、連携して職務に取り組んでいる。 ・重要業務や緊急業務に際し、自発的に他の仕事を手伝っている。	
	■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]					
II ()						
III ()						
その他の 校務等						
チームワーク行動	チームワーク行動に関する着眼点	チームワーク行動に関する着眼点	重点	重点	チームワーク行動における重点項目その他の取組状況	評価
行動	相手の立場や気持ち等を理解し、日常的に円滑なコミュニケーションを取っている	児童生徒の状況や校務に関わる情報を共有し、積極的にコミュニケーションを取っている	重点	重点	チームワーク行動に関する着眼点	
記入	諸会議や職務遂行において、他の教職員の意見に耳を傾け協力して取り組んでいる	諸会議や職務遂行において、提案や改善に努め、意欲を持って主体的に取り組んでいる	重点	重点	チームワーク行動に関する着眼点	
	教育活動等の経験や知識を継承するため、他の教職員から積極的に学ぼうとしている	チームで協力して教育活動等の経験や知識を取り組んでいる	重点	重点	チームワーク行動に関する着眼点	
	直接担当する業務以外でも、気付いたことなどは積極的に行動している	管理職や他の教職員、保護者等と協力・協働し、チームワークづくりを推進している	重点	重点	チームワーク行動に関する着眼点	
研修	(目標・計画)	(成果・課題)				

※ チームワーク行動については、当該年度に取り組むものとする。重点項目 2 つに○を記入する。
 ※ 自己評価欄については、「実績」及び「行動プロセス」について、「行動プロセス」に関する着眼点を踏まえ、領域ごとに総合的に自己評価を行い、記入する。
 ※ 修正申告及び修正評価欄については、進捗状況申告及び自己評価が基準日前に行われた場合であって、基準日現在において状況が変わった場合に限り記載する。

令和 年度 自己評価シート

学校名	職名	氏名 (年齢)	職員番号	在職年数 (現所属)	年 ()
				キャリア段階	I II III

評価領域	目 標 及 び 実 績				行 動 プ ロ セ ス		自 己 評 価	
	当 初 申 告	達 成 状 況 申 告	※修正内容	※修正申告	行動プロセスに関する着眼点	所見・特記事項	評価	※修正理由
I ()	<p>今年度の目標 (目標達成に向けた具体的な手帳や時期等)</p> <p>■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]</p>	<p>目標の達成状況・方策の取組状況 次年度への課題</p>	<p>達成度</p>	<p>達成度</p>	<p>1. 知識・情報 ・教員としての知識や技術を継続向上するとともに、共有を行っている。 ・担当業務に関して必要となる一般的な知識や基本的なノウハウを有している。 ・職務に関する情報を取捨選択し、必要に応じて担当業務に活用している。 2. 組織の方向性 ・組織の方向性や上層の指示に沿って、業務遂行に必要な判断を的確に行っている。 ・関係機関との連絡調整や手続きのもとに担当業務を的確に処理している。 3. 積極性・柔軟性 ・教員としての責任や考え方を確認しながら連絡や調整を行う。 ・常務執行部や委員会等での活動に積極的に関与している。 4. 平常の業務遂行の中で、起こりうる問題を想定し、対策を講じている。 ・組織の方向性や上層の指示を受け、組織として行動している。 ・組織の体制や業務の協力を図っている。 5. 取組姿勢 ・組織の方針を踏まえ、課題達成に向けた具体的な方策やスケジュールを基本として、意思をもって適切に対応している。 ・社会の基本的な動向や職員のニーズの把握に努めるとともに、新しい発想を持って職務に取り組んでいる。 ・公務員としての誇り、自覚を持ち、能率の遵守や公正を重んじて行動をとっている。 6. 困難な課題を先送りせず、課題解決や情報収集に向け、積極的に行動し、対応を行っている。 ・職務を自覚し、問題意識を持って前向きに取り組んでいる。 7. 責任感 ・担当業務のみなならず、団体業務においても熱意をもって取り組んでいる。 ・困難な課題に直面しても責任を回避することなく、組織の方針や上層の指示に沿って取り決断を持って対応している。 8. 早期対応 ・担当業務の発生から発生直後まで責任を持ってやり遂げている。 9. 上司や職員との十分な意思疎通を図るとともに、連携して職務に取り組んでいる。 ・重要業務や緊急事態に応じ、自発的に他の仕事を手伝っている。</p>	<p>評価</p>	<p>修正理由</p>	
II ()	<p>■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]</p>							
III ()	<p>■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]</p>							
その他の 校務等								

I 段階	II 段階	重点	チームワーク行動に関する着眼点		重点	チームワーク行動に関する着眼点	重点
			チームワーク行動に関する着眼点	チームワーク行動に関する着眼点			
チームワーク行動に関する着眼点	チームワーク行動に関する着眼点	チームワーク行動に関する着眼点	チームワーク行動に関する着眼点	チームワーク行動に関する着眼点	チームワーク行動に関する着眼点	チームワーク行動に関する着眼点	チームワーク行動に関する着眼点
相手の立場や気持ち等を理解し、日常的に円滑なコミュニケーションを取っている	児童生徒の状況や校務に関わる情報を共有し、積極的にコミュニケーションを取っている						
諸会議や職務遂行において、他の教職員の意見に耳を傾け協力して取り組んでいる	諸会議や職務遂行において、提案や改善に努め、意欲を持って主体的に取り組んでいる						
教育活動等の経験や知識を継承するため、他の教職員から積極的に学ぼうとしている	チームで協力して教育活動等の経験や知識を取り組んでいる						
直接担当する業務以外でも、気付いたことなどは積極的に行動している	管理職や他の教職員、保護者等と協力・協働し、チームワークづくりを推進している						
(目標・計画)	(成果・課題)						

※ チームワーク行動については、当該年度に取り組もうとする重点項目 2 つに○を記入する。
 ※ 自己評価欄については、「実績」及び「行動プロセス」について、「行動プロセス」に関する着眼点を踏まえ、領域ごとに総合的に自己評価を行い、記入する。
 ※ 修正申告及び修正評価欄については、達成状況申告及び自己評価が基準日前に行われた場合であって、基準日現在において状況が変った場合に限り記載する。

令和 年度 自己評価シート

学校名	職名	氏名 (年齢)	職員番号	在職年数 (現所属)	年 ()
				キャリア段階	I II III

評価領域	目 標 及 び 実 績				行 動 プ ロ セ ス		自 己 評 価		
	当 初 申 告	達 成 状 況 申 告	進 成 度	進 成 度	修正内容	修正申告	評価	※修正理由	
I ()	今年度の目標 ■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]	目標の達成状況・方策の取組状況 次年度への課題	達成度	達成度	修正内容	修正申告	行動プロセスに関する着眼点 【栄養管理】 ・専門知識を生かして献立改善を実施することで、食品物の活用や雑入など、食育効果の集約を図る。また、献立改善による、地域の特産を生かした献立づくりを積極的に進めている。 ・食育活動の取組に際しては、事前の準備を行い、実施に際しては、必要に応じて改善のための取組を行い、事後の振り返りを行う。 ・食育活動の取組に際しては、校内での取組だけでなく、校外での取組も積極的に行っている。 【衛生管理】 ・食材の適切な選定・購入や検収・保管を徹底している。 ・食中毒の発生防止に努めている。 ・食中毒の発生防止に努めている。	所見・特記事項 (評価の理由を記すとともに、特筆すべき実績がある場合はその事項を記入する)	評価 修正理由 評価
II ()	今年度の目標 ■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]	目標の達成状況・方策の取組状況 次年度への課題	達成度	達成度	修正内容	修正申告			
III その他の 校務等	今年度の目標 ■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]	目標の達成状況・方策の取組状況 次年度への課題	達成度	達成度	修正内容	修正申告			

チームワーク行動	I 段階 相手の立場や気持ちを理解し、日常的に円滑なコミュニケーションを取っている。 諸会議や職務遂行において、他の教職員の意見に耳を傾け協力して取り組んでいる。 教育活動等の経験を活かすため、他の教職員から積極的に学ぼうとしている。	II 段階 児童生徒の状況や校務に関する情報を共有し、積極的にコミュニケーションを取っている。 諸会議や職務遂行において、提案や改善に努め、意欲を持って主体的に取り組んでいる。 チームで協力して教育活動等の経験の蓄積に取り組んでいる。	III 段階 チームの取組等を他の教職員や保護者等に発信するなど、信頼関係づくりを推進している。 諸会議や職務遂行において、進んで意思形成を図りながら、職務を円滑に実行している。	チームワーク行動に関する着眼点 重点 チームワーク行動に関する着眼点 重点 チームワーク行動に関する着眼点 重点	チームワーク行動における重点項目その他の取組状況 重点	評価 評価
研修	(効果・評価)					

※ チームワーク行動については、当該年度に取り組みようとする重点項目 2 つに○を記入する。
 ※ 自己評価欄については、「実績」及び「行動プロセス」について、「行動プロセス」に関する着眼点を踏まえ、領域ごとに総合的に自己評価を行い、記入する。
 ※ 修正申告及び修正評価欄については、進捗状況申告及び自己評価が遅滞日前に行われた場合であって、基準日現在において状況が変わった場合に限り記載する。

令和 年度 自己評価シート

学校名	職名	氏名 (年齢)	職員番号	在職年数 (現所属)	年 ()
				キャリア段階	I II III

評価領域	目 標 及 び 実 績			行 動 プ ロ セ ス		自 己 評 価	
	当 初 申 告	達 成 状 況 申 告	※修正申告	行動プロセスに関する着眼点	所見・特記事項	評価	※修正評価
I ()	今年度の目標 (目標達成に向けた具体的な手帳や時期等)	目標の達成状況・方策の取組状況 次年度への課題	達成度 修正内容	【栄養管理】 学校給食を実施する上で必要な調味料の作成、食 材の調達が円滑に行われており、各学級の課 外活動に活用できるような、多彩な特色を有した食 料の提供が実現している。 【食に関する指導】 食育活動の一環として、児童生徒に対して、校内 の調理、主役、保護者等と連携して、可能な 限り幅広い生徒の状況に応じた対応を行っている。 【衛生管理】 食材の適切な選定・購入や輸取・保管を徹底して いる。学校給食衛生管理規程に定める衛生管理を行 うとともに、調理器具等に対して定期的な消毒・駆除を 行うとともに、必要に応じて改善のための取組を 実施している。 【食に関する指導】 食に関する指導に係る指導計画に参画し、招待給 食等の方策・方策を通じた、家庭や地域との連携を推進 している。 【食に関する指導】 指導計画に基づき、学習指導要領に原則に沿っ て、食に関する指導を教職員と協力しながら実施して いる。	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌等の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 ・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 ・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 ・公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。 		
	■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]						
	■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]						
II ()							
III ()							
その他の 校務等							
チームワーク行動に関する着眼点	チームワーク行動に関する着眼点	チームワーク行動に関する着眼点	チームワーク行動に関する着眼点	重点	重点	重点	重点
相手の立場や気持ちを理解し、日常的に円滑なコミュニケーションを取っている	児童生徒の状況や校務に関わる情報を共有し、積極的にコミュニケーションを取っている	児童生徒の状況や校務に関わる情報を共有し、積極的にコミュニケーションを取っている	児童生徒の状況や校務に関わる情報を共有し、積極的にコミュニケーションを取っている	重点	重点	重点	重点
諸会議や職務遂行において、他の教職員の意見に耳を傾け協力して取り組んでいる	諸会議や職務遂行において、提案や改善に努め、意図を持って主体的に取り組んでいる	諸会議や職務遂行において、提案や改善に努め、意図を持って主体的に取り組んでいる	諸会議や職務遂行において、提案や改善に努め、意図を持って主体的に取り組んでいる	重点	重点	重点	重点
教育活動等の経験を継承するため、他の教職員から積極的に学ぼうとしている	チームで協力して教育活動等の経験を積み取り取り組んでいる	チームで協力して教育活動等の経験を積み取り取り組んでいる	チームで協力して教育活動等の経験を積み取り取り組んでいる	重点	重点	重点	重点
直接担当する業務以外でも、気付いたことなどは積極的に行動している	管理職や他の教職員、保護者等と協力・協働し、チームワークづくりを推進している	管理職や他の教職員、保護者等と協力・協働し、チームワークづくりを推進している	管理職や他の教職員、保護者等と協力・協働し、チームワークづくりを推進している	重点	重点	重点	重点
(目標・計画)	(結果・課題)	(結果・課題)	(結果・課題)				
チームワーク行動に関する着眼点	チームワーク行動に関する着眼点	チームワーク行動に関する着眼点	チームワーク行動に関する着眼点	重点	重点	重点	重点
相手の立場や気持ちを理解し、日常的に円滑なコミュニケーションを取っている	児童生徒の状況や校務に関わる情報を共有し、積極的にコミュニケーションを取っている	児童生徒の状況や校務に関わる情報を共有し、積極的にコミュニケーションを取っている	児童生徒の状況や校務に関わる情報を共有し、積極的にコミュニケーションを取っている	重点	重点	重点	重点
諸会議や職務遂行において、他の教職員の意見に耳を傾け協力して取り組んでいる	諸会議や職務遂行において、提案や改善に努め、意図を持って主体的に取り組んでいる	諸会議や職務遂行において、提案や改善に努め、意図を持って主体的に取り組んでいる	諸会議や職務遂行において、提案や改善に努め、意図を持って主体的に取り組んでいる	重点	重点	重点	重点
教育活動等の経験を継承するため、他の教職員から積極的に学ぼうとしている	チームで協力して教育活動等の経験を積み取り取り組んでいる	チームで協力して教育活動等の経験を積み取り取り組んでいる	チームで協力して教育活動等の経験を積み取り取り組んでいる	重点	重点	重点	重点
直接担当する業務以外でも、気付いたことなどは積極的に行動している	管理職や他の教職員、保護者等と協力・協働し、チームワークづくりを推進している	管理職や他の教職員、保護者等と協力・協働し、チームワークづくりを推進している	管理職や他の教職員、保護者等と協力・協働し、チームワークづくりを推進している	重点	重点	重点	重点

※ チームワーク行動については、当該年度に取り組もうとする重点項目 2 つに○を記入する。
 ※ 自己評価欄については、「実績」及び「行動プロセス」について、「行動プロセス」に関する着眼点を踏まえ、領域ごとに総合的に自己評価を行い、記入する。
 ※ 修正申告及び修正評価欄については、進捗状況報告及び自己評価が基準日前に行われた場合であって、基準日現在において状況が変わった場合に限り記載する。

令和 年度 自己評価シート

学校名	職名	氏名 (年齢)	職員番号	在職年数 (現所属)	年 ()
				キャリア段階	I II III

評価領域	目 標 及 び 実 績				行 動 プ ロ セ ス		自 己 評 価	
	当 初 申 告	達 成 状 況 申 告	※修正内容	※修正申告	行動プロセスに関する着眼点	所見・特記事項	評価	※修正理由
I ()	今年度の目標 方針 (目標達成に向けた具体的な手順や時期等) 策 策 (目標達成に向けた具体的な手順や時期等)	目標の達成状況・方針の取組状況 次年度への課題	達成度	達成度	【栄養管理】 ・学校給食を改善する上で必要な情報収集の作成など、調理師の活用や調理師の導入、各学級の課題に合わせた献立作成、給食の特色を生かしたメニューの作成などを行っている。 ・アレルギー等のある児童生徒に対して、校内の職員、主治医、保健師等と連携し、可能な限り個々の生徒の状況に応じた対応を行っている。 【衛生管理】 ・教材の適切な選定・購入や検収・保管を徹底している。 ・学校給食衛生管理規程に基づき、衛生管理を行うことにより、調理師等に対して、食中毒・食中毒の予防・立派な検査を通じて、家庭や地域との連携に努める。			
II ()	■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]							
III ()	■中間申告 [進行状況の整理・目標の修正等]				【食に関する指導】 ・食に関する指導に各学級計画に参画し、招待給食等の企画・立案を推進している。 ・様々な機会を通じて、家庭や地域との連携に努める。 ・指導計画に基づき、学校給食を有効に活用した食に関する指導を教職員と協力しながら行っている。 ・校務分掌等の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 ・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 ・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 ・公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。			

チームワーク行動	チームワーク行動に関する着眼点	重点	III段階	重点	チームワーク行動に関する着眼点	重点	チームワーク行動における重点項目その他の取組状況	評価
相手の立場や気持ちから理解し、日常的に円滑なコミュニケーションを取っている。 諸会議や職務遂行において、他の教職員の意見に耳を傾け協力して取り組んでいる。 教育活動等の経験を継承するため、他の教職員から積極的に学ぼうとしている。 直接担当する業務以外でも、気付いたことからは積極的に行動している。	チームワーク行動に関する着眼点 児童生徒の状況や校務に関わる情報を共有し、積極的にコミュニケーションを取っている。 諸会議や職務遂行において、提案や改善に努め、意欲を持って主体的に取り組んでいる。 チームで協力して教育活動等の経験を継承し、チームワークづくりを推進している。	チームワーク行動に関する着眼点 チームの取組等や保護者等に発信するなど、信頼関係づくりを推進している。 諸会議や職務遂行において、進んで合意形成を図りながら、職務を円滑に実行している。 教育活動等の経験を継承し、他の教職員に対して進んで支援・助言を行っている。 広い視野から取組状況等を分析し、中長期的な視点で課題や対応方針を考えて行動している。						
研修	(目標・計画)	(成果・課題)						

※ チームワーク行動については、当該年度に取り組もうとする重点項目 2 つに○を記入する。
 ※ 自己評価欄については、「実績」及び「行動プロセス」について、「行動プロセス」に関する着眼点を踏まえ、領域ごとに総合的に自己評価を行い、記入する。
 ※ 修正申告及び修正評価欄については、進捗状況報告及び自己評価が基準日前に行われた場合であって、基準日現在において状況が変わった場合に限り記載する。

令和 年度 最終 評価 シート

学校名 () 職名 () 氏名 () 職員番号 ()

	評価領域別評価				
	学校経営の一般	教育計画と実施	職員の指導・監督		
第1次評価者 職名 氏名	I 学校経営の改善及び運営管理 II 開かれた学校づくり III 施設・事務等の管理及び予算運用	IV 教育計画の年度重点目標及び教育計画の実施・評価・改善	V 教職員の指導育成及び勤務状況の把握	総合評価	
最終評価者 職名 氏名	(所見・特記事項)				
調整 職名 氏名					所見・特記事項

令和 年度 最終 評価 シート

学校名 () 職名 () 氏名 () 職員番号 ()

	評価領域別評価				
	学校経営の一般	教育計画と実施	V 教職員の指導育成及び勤務状況の把握	IV 教育計画の年度の重点目標及び学習指導、進路指導、生活指導、特別活動などの教育計画の実施・評価・改善	
第1次評価者 職名 氏名	I 学校経営の改善及び運営管理	II 開かれた学校づくり	III 施設・事務等の管理及び予算運用	V 教職員の指導育成及び勤務状況の把握	総合評価
最終評価者 職名 氏名	(所見・特記事項)	(所見・特記事項)	(所見・特記事項)	(所見・特記事項)	(所見・特記事項)
調整 職名 氏名	(所見・特記事項)				(所見・特記事項)

様式 2-3 (教職員用)

令和 年度 最終 評価 シート

学校名 () 職名 () 氏名 () 職員番号 ()	評価領域別評価			総合評価	チームワーク 行動評価
	I ()	II ()	III ()		
第1次評価者 職名 氏名					
最終評価者 職名 氏名					
所見・特記事項					
調整 職名 氏名		所見・特記事項			

令和 年度 人事評価報告書 (定期・臨時)

教育委員会

第1次評価者	職名	氏名	年度	最終評価者	教育長	氏名	*調整	教育長	氏名	
										第1次評価
通し番号	学校コード	学校名	氏名	職員番号	第1次評価 領域別		最終評価 領域別		*調整	*備考
1				I	II	III	IV	V		
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										

令和 年度 人事評価報告書 (定期・臨時)

教育委員会

最終評価者	職名	氏名	教育長	氏名
-------	----	----	-----	----

通し番号	学校コード	学校名	氏名	職員番号	第1次評価					最終評価					*調整	*備考	
					領域別					領域別							
					I	II	III	IV	V	総合評価	I	II	III	IV			V
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	

令和 年度 人事評価報告書 (定期・特別・臨時)

第1次評価者		教頭		最終評価者		校長						
学校コード	学校名	職名	氏名	職員番号	キャリア段階	第1次評価		最終評価		* 調整	* 備考	
						領域別	総合評価	領域別	総合評価			
						I	II	III	I	II	III	チームワーク行動評価
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												

令和 年度 人事評価報告書 (定期・特別・臨時)

教育委員会

*調整 教育長

通し番号	学校コード	学校名	職名	氏名	職員番号	キャリア段階	第1次評価				最終評価				*調整		*備考		
							領域別	総合評価	チームワーク行動評価	領域別	総合評価	チームワーク行動評価	総合評価	チームワーク行動評価					
							I	II	III	総合評価	チームワーク行動評価	I	II	III	総合評価	チームワーク行動評価	総合評価	チームワーク行動評価	
1																			
2																			
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			
16																			
17																			
18																			
19																			
20																			

令和 年度 人事評価結果一覧

*調整 教育長

教育委員会

通し番号	学校コード	学校名	職名	氏名	職員番号	第1次評価			最終評価			*調整		*備考
						領域別	総合評価	チームワーク行動評価	領域別	総合評価	チームワーク行動評価	総合評価	チームワーク行動評価	
1						I	III		I	III				
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														

様式 4

評価理由書

最終評価者 職・氏名 _____

学校名		氏名	
評価領域別 評価の根拠	<p>[評価領域]</p> <p>[根拠となる事実（支障をきたしている状況）]</p>		
付記事項			

- ※ 「評価領域別評価の根拠」欄には、評価領域ごとに行動プロセスに関する着眼点を踏まえ、[根拠となる事実（支障をきたしている状況）]を具体的に記入する。
- ※ 「付記事項」欄には、総合的に評価するに当たって、特に支障をきたしている点を記入する。

自己研修計画書

学校名

氏名		作成年月日	年	月	日
研修の中心となる評価領域及び課題					
研修目標 (テーマ)					
研修計画 (時期及び手順)					
受講する研修	(教育委員会の主催、その他教育研究団体等の主催の研修について記載する)				

自己研修報告書

学校名

(取組内容) ※研修計画に基づいて、実際に行った内容

(成果) ※1年間の研修を通じて、自分自身で「力がついた」、「ここが変わった」と思うこと

(課題) ※1年間の研修では「やりきれなかった」と思うことや研修を通して見えてきた新たな目標・課題

※「着眼点」は、職務を遂行する上で通常必要とされる水準を例示したものである。

(1) 校長

評価領域	着眼点
I 学校経営の改善及び運営管理	<ul style="list-style-type: none"> ・「目指す学校像」を踏まえ、学校の現状を分析して課題を明確にし、問題意識を持って意欲的に学校経営に取り組み、その課題解決のため具体的な方策を実施・検証している。 ・校務分掌は、教職員の資質・能力、経験等を生かし、適切に組織活用がなされている。 ・円滑な学校運営を行い、組織として十分機能を発揮させ、教職員の学校運営に対する参画意識を高めている。 ・心理的安全性を高め、主体的に課題を解決しようとする組織風土の醸成を図っている。
II 開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の目標や取組を関係機関、保護者、家庭、地域等と共有し、学校運営に対する参画を得て、連携・協働を図っている。 ・教育活動について積極的に情報発信している。 ・開かれた学校づくりに意欲的に取り組んでいる。
III 施設・事務等の管理及び予算運用	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動を円滑に行うため、施設・設備の管理、諸帳簿の整備、文書等の発行・管理を適切に行っている。 ・学校の特色化のため、予算の編成を工夫し、効果的な運用を行っている。
IV 教育計画の年度の重点目標及び教育計画の実施・評価・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・年度の重点目標を適切に設定し、その達成に努めている。 ・学習指導要領等に基づいて、地域や学校、児童生徒の実態に即し、創意を生かした教育課程を編成、実施している。 ・教育計画の適切な立案、円滑な実施のために指導・助言及び評価を行い、組織的・計画的に質の高い活動へと改善・更新させている。
V 教職員の指導育成及び勤務状況の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員との円滑なコミュニケーションを図り、能力等を十分に把握し、自律的な成長が図れるように適切に指導・育成している。 ・教職員の勤務時間の管理をはじめ、適正な服務管理、業務量管理及び健康管理に努め、各教職員のワークライフバランスの推進を考慮した適切な指導・助言を与えている。 ・教職員の共通理解を深めながらチームワークづくりを推進し、学校の教育力を最大限発揮できる職場づくりに努めている。 ・教育公務員として、高い倫理感と自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。

(2) 教頭

評価領域	着眼点
I 学校経営の改善及び運営管理	<ul style="list-style-type: none"> ・「目指す学校像」を踏まえ、学校の現状を分析して課題を明確にし、問題意識を持って意欲的に学校経営に取り組み、校長の目標の実現のため具体的な方策を実施・検証している。 ・校長を助け、円滑な学校運営を行い、組織として十分機能を発揮させ、教職員の学校運営に対する参画意識を高めている。 ・校務分掌は、教職員の資質・能力、経験等を生かし、適切に組織活用がなされている。 ・心理的安全性を高め、主体的に課題を解決しようとする組織風土の醸成を図っている。
II 開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の目標や取組を関係機関、保護者、家庭、地域等と共有して学校運営に対する参画意識を得て、連携・協働を図っている。 ・教職員を指導して、教育活動について積極的に情報発信している。 ・開かれた学校づくりに意欲的に取り組んでいる。
III 施設・事務等の管理及び予算運用	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動を円滑に行うため、教職員を指導して、施設・設備の管理、諸帳簿の整備、文書等の発行・管理を適切に行っている。 ・学校の特色化のため、予算の編成を工夫し、効果的な運用を行っている。
IV 教育計画の年度の重点目標及び学習指導、進路指導、生活指導、特別活動などの教育計画の実施・評価・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員を指導して、年度の重点目標達成に努めている。 ・学習指導要領等に基づいて、地域や学校、児童生徒の実態に即し、創意を生かした教育課程を編成、実施している。 ・学習指導、進路指導、生活指導、特別活動などの教育計画の適切な立案、円滑な実施のために指導・助言及び評価を行い、組織的・計画的に質の高い活動へと改善・更新させている。
V 教職員の指導育成及び勤務状況の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員との円滑なコミュニケーションを図り、能力等を十分に把握し、自律的な成長が図れるように適切に指導・育成している。 ・教職員の勤務時間の管理をはじめ、適正な服務管理、業務量管理及び健康管理

	<p>に努め、コミュニケーションを図るとともに、各教職員のワークライフバランスの推進を考慮した適切な指導・助言を与えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の共通理解を深めながらチームワークづくりを推進し、学校の教育力を最大限発揮できる職場づくりに努めている。 ・教育公務員として、高い倫理感と自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。
--	---

(3) 主幹教諭（小学校教諭）

評価領域		着眼点
I 学校の組織的な運営		<ul style="list-style-type: none"> ・校長及び教頭の指示を受け、その職務を整理し、校長等が判断・処理できるようとりまとめている。 ・企画委員会等の構成員として学校運営に積極的に参画している。 ・学校運営が組織的、機動的になされるよう、教職員の共通理解の下、積極的に分掌間の調整等に努めている。
II 教科指導・生徒指導等	教科指導	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の充実を図るため、常に教材研究に努めている。 ・適切な指導計画に基づき、年間を通じて計画的に授業を進めている。 ・児童一人一人の学習状況を把握し、個に応じた指導・支援を行っている。 ・指導と評価の一体化を図り、指導の改善や児童の学習意欲の向上に努めている。
	生徒指導等	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的態度を育成している。 ・教育相談的な対応に心がけ、児童理解に努めながら適切な生徒指導を行っている。 ・家庭や地域との情報交換を行い、連携して指導している。
III 担当する校務等		<ul style="list-style-type: none"> ・担当する校務の課題を的確に認識し、改善に向けて組織的、計画的に取り組んでいる。 ・教職員とのコミュニケーションを図り、適切に指導・助言している。 ・開かれた学校づくりに意欲的に取り組んでいる。 ・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。
チームワーク行動		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。

(4) 主幹教諭（中学校教諭）

評価領域		着眼点
I 学校の組織的な運営		<ul style="list-style-type: none"> ・校長及び教頭の指示を受け、その職務を整理し、校長等が判断・処理できるようとりまとめている。 ・企画委員会等の構成員として学校運営に積極的に参画している。 ・学校運営が組織的、機動的になされるよう、教職員の共通理解の下、積極的に分掌間の調整等に努めている。
II 教科指導・生徒指導等	教科指導	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の充実を図るため、常に教材研究に努めている。 ・適切な指導計画に基づき、年間を通じて計画的に授業を進めている。 ・生徒一人一人の学習状況を把握し、個に応じた指導・支援を行っている。 ・指導と評価の一体化を図り、指導の改善や生徒の学習意欲の向上に努めている。
	生徒指導等	<ul style="list-style-type: none"> ・集団や社会の一員としての自覚を養い、望ましい生活習慣を育成している。 ・教育相談的な対応に心がけ、生徒理解に努めながら適切な生徒指導を行っている。 ・生徒一人一人の特性を考慮に入れた進路指導を行っている。 ・家庭や地域との情報交換を行い、連携して指導している。
III 担当する校務等		<ul style="list-style-type: none"> ・担当する校務の課題を的確に認識し、改善に向けて組織的、計画的に取り組んでいる。 ・教職員とのコミュニケーションを図り、適切に指導・助言している。 ・開かれた学校づくりに意欲的に取り組んでいる。 ・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。
チームワーク行動		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。

(5) 主幹教諭（高等学校教諭）

評価領域		着眼点
I 学校の組織的な運営		<ul style="list-style-type: none"> ・校長及び教頭の指示を受け、その職務を整理し、校長等が判断・処理できるようとりまとめている。 ・企画委員会等の構成員として学校運営に積極的に参画している。 ・学校運営が組織的、機動的になされるよう、教職員の共通理解の下、積極的に分掌間の調整等に努めている。
	教科指導	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の充実を図るため、常に教材研究に努めている。 ・適切な指導計画のもと、年間を通じて計画的に授業を進めている。

II 教科指導・生徒指導等		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人の学習状況を把握し、学力向上のための支援を行っている。 ・指導と評価の一体化が図られ、学習指導の工夫・改善に努めている。
	生徒指導等	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談的な対応に心がけ、生徒理解に努めながら適切な生徒指導を行っている。 ・生徒の実態に応じ、進路選択ができるよう適切に支援している。 ・行事等を通じて、生徒の自主性・自律性を育てる指導を行っている。 ・家庭や地域と情報交換を行い、連携して指導している。
III 担当する校務等		<ul style="list-style-type: none"> ・担当する校務の課題を的確に認識し、改善に向けて組織的、計画的に取り組んでいる。 ・教職員とのコミュニケーションを図り、適切に指導・助言している。 ・開かれた学校づくりに意欲的に取り組んでいる。 ・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。
チームワーク行動		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。

(6) 主幹教諭（特別支援学校教諭）

評価領域		着眼点
I 学校の組織的な運営		<ul style="list-style-type: none"> ・校長及び教頭の指示を受け、その職務を整理し、校長等が判断・処理できるようとりまとめている。 ・企画委員会等の構成員として学校運営に積極的に参画している。 ・学校運営が組織的、機動的になされるよう、教職員の共通理解の下、積極的に分掌間の調整等に努めている。
II 教科指導・生徒指導等	教科指導	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の充実を図るため、常に教材研究に努めている。 ・幼児児童生徒の実態やニーズを踏まえて指導目標を設定し、年間を通じて計画的に授業を進めている。 ・学習指導に関する専門的知識・技能が発揮され、幼児児童生徒の理解を促進している。 ・指導と評価の一体化が図られ、学習指導の工夫・改善に努めている。
	生徒指導等	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談的な対応に心がけ、個々の理解に努めながら適切な生徒指導を行っている。 ・活動内容や指導方法を工夫し、幼児児童生徒の能力を高め、特性を発揮させている。 ・生徒の実態に応じ、卒業後の生活を考慮に入れた進路指導を行っている。 ・家庭や地域、関係機関と連携し、組織的な対応に努めている。
III 担当する校務等		<ul style="list-style-type: none"> ・担当する校務の課題を的確に認識し、改善に向けて組織的、計画的に取り組んでいる。 ・教職員とのコミュニケーションを図り、適切に指導・助言している。 ・開かれた学校づくりに意欲的に取り組んでいる。 ・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。
チームワーク行動		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。

(7) 主幹教諭（養護教諭）

評価領域		着眼点
I 学校の組織的な運営		<ul style="list-style-type: none"> ・校長及び教頭の指示を受け、その職務を整理し、校長等が判断・処理できるようとりまとめている。 ・企画委員会等の構成員として学校運営に積極的に参画している。 ・学校運営が組織的、機動的になされるよう、教職員の共通理解の下、積極的に分掌間の調整等に努めている。
II 保健管理・保健教育	保健管理	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健計画の作成に参画し、様々な機会を通じて健康・安全の指導に取り組んでいる。 ・保健に関する情報の収集と管理、提供に努めている。 ・日頃から、関係医療機関・相談機関等との連絡体制を整備している。 ・感染症や疾病の予防、救急処置等の専門的知識・技術を有し、緊急事態に対して、冷静、的確に対応できる。
	保健教育	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が自ら健康課題について考え、判断し、行動できるような実践的な能力や態度を身に付けるよう指導に努めている。 ・健康上の課題がある児童生徒の指導について、保護者、家庭との連絡を密にし、連絡体制を形成している。 ・児童生徒の健康課題を様々な機会を通じて、家庭や地域へ啓発している。 ・保健学習への専門的助言、資料提供や教材作成等の協力を努めている。
III 担当する校務等		<ul style="list-style-type: none"> ・担当する校務の課題を的確に認識し、改善に向けて組織的、計画的に取り組んでいる。 ・教職員とのコミュニケーションを図り、適切に指導・助言している。

	<ul style="list-style-type: none"> 開かれた学校づくりに意欲的に取り組んでいる。 教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。
チームワーク行動	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。

(8) 主幹教諭（栄養教諭）

評価領域		着眼点
I 学校の組織的な運営		<ul style="list-style-type: none"> 校長及び教頭の指示を受け、その職務を整理し、校長等が判断・処理できるようとりまとめている。 企画委員会等の構成員として学校運営に積極的に参画している。 学校運営が組織的、機動的になされるよう、教職員の共通理解の下、積極的に分掌間の調整等に努めている。
II 給食管理・食に関する指導	給食管理	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食を実施する上で必要な諸帳簿の作成、食事状況調査などを専門的な立場で適切に実施し、積極的に取り組んでいる。 食品に関する最新の情報収集と管理、提供を行っている。 食材の適切な選定・購入や検収・保管を徹底している。 「学校給食衛生管理基準」に定める衛生管理を行うため、調理従事者等に対して必要な指導・助言を行うとともに、必要に応じて改善のための取組を行っている。 学校給食の安全を確保するため、衛生に係る日常点検の実施、検食、保存食の管理を確実にしている。 食物アレルギー等のある児童生徒に対して、校内の職員、主治医、保護者等と連携し、可能な限り個々の生徒の状況に応じた対応を行っている。
	食に関する指導	<ul style="list-style-type: none"> 食に関する指導に係る学校全体の指導計画の作成に参画するとともに、教職員間及び家庭・地域との連絡・調整を図っている。 学校給食便りなど様々な機会を通じて、家庭や地域との連携を推進している。 指導計画に基づき各教室に出向き、学校給食を有効に活用した食に関する指導を行っている。 肥満傾向、過度の痩身、偏食傾向の児童生徒への個別指導を、家庭とも連携しながら行っている。 関連教科や特別活動の時間などに、学級担任や教科担任と連携しながら食に関する指導を進めている。
III 担当する校務等		<ul style="list-style-type: none"> 担当する校務の課題を的確に認識し、改善に向けて組織的、計画的に取り組んでいる。 教職員とのコミュニケーションを図り、適切に指導・助言している。 開かれた学校づくりに意欲的に取り組んでいる。 教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。
チームワーク行動		<ul style="list-style-type: none"> 日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。

(9) 小学校教諭（講師含む）

評価領域		着眼点
I 教科指導等	指導計画の作成・改善	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領を踏まえ、児童の実態に即した指導計画を作成している。 授業の充実を図るため、常に教材研究に努めている。 適切な指導計画に基づき、年間を通じて計画的に授業を進めている。 日頃から指導計画を見直し、その工夫・改善に努めている。
	学習指導と評価	<ul style="list-style-type: none"> 児童に対する発問、指示、板書などが適切で、授業が円滑に展開されている。 児童一人一人の学習状況を把握し、個に応じた指導・支援を行っている。 指導方法や指導形態を工夫して、児童の主体的な学習活動を展開している。 指導と評価の一体化を図り、指導の改善や児童の学習意欲の向上に努めている。 学校の教育活動全体を通じて、道徳教育の充実に努めている。
II 学年・学級経営・生徒指導等	学年・学級経営、生徒指導等	<ul style="list-style-type: none"> 児童が協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的態度を育成している。 学級・学年集団を適切に指導するとともに、児童一人一人のよさを生かしている。 教育相談的な対応に心がけ、児童理解に努めながら適切な生徒指導を行っている。 教員間で学年運営上の課題を共有するなど、相互理解に努めている。 家庭や地域との情報交換を行い、連携して指導している。
III その他の校務等	校務分掌等	<ul style="list-style-type: none"> 校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。

		ている。
チームワーク行動		・日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。

(10) 中学校教諭（講師含む）

評価領域		着眼点
I 教科指導等	指導計画の作成・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領を踏まえ、生徒の実態に即した指導計画を作成している。 ・授業の充実を図るため、常に教材研究に努めている。 ・適切な指導計画に基づき、年間を通じて計画的に授業を進めている。 ・日頃から指導計画を見直し、その工夫・改善に努めている。
	学習指導と評価	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に対する発問、指示、板書等が適切で、授業が円滑に展開されている。 ・生徒一人一人の学習状況を把握し、個に応じた指導・支援を行っている。 ・指導方法や指導形態を工夫して、生徒の主体的な学習活動を展開している。 ・指導と評価の一体化を図り、指導の改善や生徒の学習意欲の向上に努めている。
II 学年・学級経営・生徒指導等	学年・学級経営、生徒指導、進路指導等	<ul style="list-style-type: none"> ・集団や社会の一員としての自覚を養い、望ましい生活習慣を育成している。 ・教員間で学年運営上の課題を共有するなど、相互理解に努めている。 ・教育相談的な対応に心がけ、生徒理解に努めながら適切な生徒指導を行っている。 ・生徒一人一人の特性を考慮に入れた進路指導を行っている。 ・家庭や地域と情報交換を行い、連携して指導している。
III その他の校務等	校務分掌等	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 ・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 ・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 ・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。
チームワーク行動		・日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。

(11) 高等学校教諭（講師含む）

評価領域		着眼点
I 教科指導等	指導計画の作成・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態や教科・科目等の系統性を踏まえた年間指導計画等を作成している。 ・授業の充実を図るため、常に教材研究に努めている。 ・学習指導要領を踏まえ、適切な指導目標を設定している。 ・適切な指導計画のもと、年間を通じて計画的に授業を進めている。
	学習指導と評価	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に即した指導が行われ、学習状況の把握、支援などが適切である。 ・教科・科目に関する専門的知識・技能が発揮され、生徒の理解を促進している。 ・生徒一人一人の学習状況を把握し、学力向上のための支援を行っている。 ・指導と評価の一体化が図られ、学習指導の工夫・改善に努めている。
II 学年・HR経営・生徒指導等	学年・ホームルーム経営、生徒指導、進路指導、特別活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・教員間で学年運営上の課題を共有するなど、相互理解に努めている。 ・教育相談的な対応に心がけ、生徒理解に努めながら適切な生徒指導を行っている。 ・生徒の実態に応じ、進路選択ができるよう適切に支援している。 ・学校・学年行事等を通じて、生徒の自主性・自律性を育てる指導を行っている。 ・家庭や地域と情報交換を行い、連携して指導している。
III その他の校務等	校務分掌等	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 ・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 ・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 ・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。
チームワーク行動		・日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。

(12) 特別支援学校教諭（講師含む）

評価領域		着眼点
I 教科指導等	指導計画の作成・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や関係機関と連携し、幼児児童生徒一人一人の障害の状態及び発達段階や特性等に応じた具体的な指導計画等を作成している。 ・授業の充実を図るため、常に教材研究に努めている。 ・幼児児童生徒の実態やニーズを踏まえて指導目標を設定し、年間を通じて計画的に授業を進めている。 ・保護者と連携しながら、適宜、指導計画を見直し、工夫・改善を行っている。
	学習指導と評価	<ul style="list-style-type: none"> ・指導方法や教材・教具の工夫等により、幼児児童生徒の学習意欲を高めている。

		<ul style="list-style-type: none"> ・幼児児童生徒の実態に即した指導が行われ、指導内容は適切である。 ・学習指導に関する専門的知識・技能が発揮され、幼児児童生徒の理解を促進している。 ・指導と評価の一体化が図られ、学習指導の工夫・改善に努めている。
II 学部・学年・学級経営・学級経営・生徒指導等	学部・学年・学級経営、生徒指導、進路指導、特別活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・教員間で学部・学年運営上の課題を共有するなど、相互理解に努めている。 ・教育相談的な対応に心がけ、個々の理解に努めながら適切な生徒指導を行っている。 ・活動内容や指導方法を工夫し、幼児児童生徒の能力を高め、特性を発揮させている。 ・生徒の実態に応じ、卒業後の生活を考慮に入れた進路指導を行っている。 ・家庭や地域、関係機関と連携し、組織的な対応に努めている。
III その他の校務等	校務分掌等	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 ・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 ・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 ・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。
チームワーク行動		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに求められる協働に向けた行動を行っている。

(13) 養護教諭

評価領域		着眼点
I 保健管理	保健室運営	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健計画の作成に参画し、様々な機会を通じて健康・安全の指導に取り組んでいる。 ・保健に関する情報の収集と管理、提供に努めている。 ・職務の特質や保健室の機能を生かした健康相談を行っている。 ・健康診断の準備、実施、結果に基づく措置を適切に行っている。
	救急処置・学校環境衛生	<ul style="list-style-type: none"> ・日常における環境衛生活動の充実を図るため、学級担任等に適切な協力や助言に努めている。 ・児童生徒の心身の健康状況・健康上の課題に関する情報を適切に管理している。 ・日頃から、関係医療機関・相談機関等との連絡体制を整備している。 ・感染症や疾病の予防、救急処置等の専門的な知識・技術を有し、緊急事態に対して、冷静、的確に対応できる。
II 保健教育	保健指導・保健学習	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が自ら健康課題について考え、判断し、行動できるような実践的な能力や態度を身に付けるよう指導に努めている。 ・健康上の課題がある児童生徒の指導について、保護者、家庭との連絡を密にし、協力体制を形成している。 ・児童生徒の健康課題を様々な機会を通じて、家庭や地域へ啓発している。 ・保健学習への専門的な助言、資料提供や教材作成等の協力を努めている。
III その他の校務等	校務分掌等	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 ・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 ・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 ・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。
チームワーク行動		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。

(14) 栄養教諭

評価領域		着眼点
I 給食管理	栄養管理	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食を実施する上で必要な諸帳簿の作成、食事状況調査などを専門的な立場で適切に実施し、積極的に取り組んでいる。 ・地場産物の活用や郷土食の導入など、各学校の実態に応じた献立を作成し、地域の特色を生かした学校給食を積極的に実施している。 ・食品に関する最新の情報収集と管理、提供を行っている。 ・食物アレルギー等のある児童生徒に対して、校内の職員、主治医、保護者等と連携し、可能な限り個々の生徒の状況に応じた対応を行っている。
	衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> ・食材の適切な選定・購入や検収・保管を徹底している。 ・「学校給食衛生管理基準」に定める衛生管理を行うため、調理従事者等に対して必要な指導・助言を行うとともに、必要に応じて改善のための取組を行っている。 ・学校給食の安全を確保するため、衛生に係る日常点検の実施、検食、保存食の管理を確実にしている。
II 食に関する指導	食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・食に関する指導に係る学校全体の指導計画の作成に参画するとともに、招待給食等を企画・立案するなど、教職員間及び家庭・地域との連絡・調整を図っている。 ・学校給食便りなど様々な機会を通じて、家庭や地域との連携を推進している。

		<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画に基づき各教室に出向き、学校給食を有効に活用した食に関する指導を行っている。 ・肥満傾向、過度の痩身、偏食傾向の児童生徒への個別指導を、家庭とも連携しながら行っている。 ・関連教科や特別活動の時間などに、学級担任や教科担任と連携しながら食に関する指導を進めている。
Ⅲ その他の校務等	校務分掌等	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌等の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 ・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 ・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 ・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。
チームワーク行動		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。

(15) 小学校助教諭（講師含む）

評価領域		着眼点
Ⅰ 教科指導等	指導計画の作成・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領を踏まえ、児童の実態に即した指導計画を作成している。 ・授業の充実を図るため、他の教諭と連携しながら常に教材研究に努めている。 ・適切な指導計画に基づき、年間を通じて計画的に授業を進めている。 ・日頃から指導計画を見直し、その工夫・改善に努めている。
	学習指導と評価	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に対する発問、指示、板書などが適切で、授業が円滑に展開されている。 ・児童一人一人の学習状況を把握し、個に応じた指導・支援を行っている。 ・指導方法や指導形態を工夫して、児童の主体的な学習活動を展開している。 ・指導と評価の一体化を図り、他の教諭と連携しながら指導の改善や児童の学習意欲の向上に努めている。 ・学校の教育活動全体を通じて、道徳教育の充実に努めている。
Ⅱ 学年・学級経営・生徒指導等	学年・学級経営、生徒指導等	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的態度を育成している。 ・学級・学年集団を適切に指導するとともに、児童一人一人のよさを生かしている。 ・教育相談的な対応に心がけ、他の教諭と連携しながら児童理解に努めながら適切な生徒指導を行っている。 ・教員間で学年運営上の課題を共有するなど、相互理解に努めている。 ・家庭や地域との情報交換を行い、連携して指導している。
Ⅲ その他の校務等	校務分掌等	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 ・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 ・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 ・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。
チームワーク行動		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。

(16) 中学校助教諭（講師含む）

評価領域		着眼点
Ⅰ 教科指導等	指導計画の作成・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領を踏まえ、生徒の実態に即した指導計画を作成している。 ・授業の充実を図るため、他の教諭と連携しながら常に教材研究に努めている。 ・適切な指導計画に基づき、年間を通じて計画的に授業を進めている。 ・日頃から指導計画を見直し、その工夫・改善に努めている。
	学習指導と評価	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に対する発問、指示、板書等が適切で、授業が円滑に展開されている。 ・生徒一人一人の学習状況を把握し、個に応じた指導・支援を行っている。 ・指導方法や指導形態を工夫して、生徒の主体的な学習活動を展開している。 ・指導と評価の一体化を図り、他の教諭と連携しながら指導の改善や生徒の学習意欲の向上に努めている。
Ⅱ 学年・学級経営・生徒指導等	学年・学級経営、生徒指導、進路指導等	<ul style="list-style-type: none"> ・集団や社会の一員としての自覚を養い、望ましい生活習慣を育成している。 ・教員間で学年運営上の課題を共有するなど、相互理解に努めている。 ・教育相談的な対応に心がけ、他の教諭と連携しながら生徒理解に努めながら適切な生徒指導を行っている。 ・生徒一人一人の特性を考慮に入れた進路指導を行っている。 ・家庭や地域と情報交換を行い、連携して指導している。
Ⅲ その他の校務等	校務分掌等	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 ・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 ・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 ・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。

		ている。
チームワーク行動		・日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。

(17) 高等学校助教諭（講師含む）

評価領域		着眼点
I 教科指導等	指導計画の作成・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態や教科・科目等の系統性を踏まえた年間指導計画等を作成している。 ・授業の充実を図るため、他の教諭と連携しながら常に教材研究に努めている。 ・学習指導要領を踏まえ、適切な指導目標を設定している。 ・適切な指導計画のもと、年間を通じて計画的に授業を進めている。
	学習指導と評価	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に即した指導が行われ、学習状況の把握、支援などが適切である。 ・教科・科目に関する知識・技能が発揮され、生徒の理解を促進している。 ・生徒一人一人の学習状況を把握し、学力向上のための支援を行っている。 ・指導と評価の一体化が図られ、他の教諭と連携しながら学習指導の工夫・改善に努めている。
II 学年・HR経営・生徒指導等	学年・ホームルーム経営、生徒指導、進路指導、特別活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・教員間で学年運営上の課題を共有するなど、相互理解に努めている。 ・教育相談的な対応に心がけ、生徒理解に努めながら適切な生徒指導を行っている。 ・生徒の実態に応じ、他の教諭と連携しながら進路選択ができるよう適切に支援している。 ・学校・学年行事等を通じて、生徒の自主性・自律性を育てる指導を行っている。 ・家庭や地域と情報交換を行い、連携して指導している。
III その他の校務等	校務分掌等	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 ・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 ・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 ・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。
チームワーク行動		・日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。

(18) 特別支援学校助教諭（講師含む）

評価領域		着眼点
I 教科指導等	指導計画の作成・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や関係機関と連携し、幼児児童生徒一人一人の障害の状態及び発達段階や特性等に応じた具体的な指導計画等を作成している。 ・授業の充実を図るため、他の教諭と連携しながら常に教材研究に努めている。 ・幼児児童生徒の実態やニーズを踏まえて指導目標を設定し、年間を通じて計画的に授業を進めている。 ・保護者と連携しながら、適宜、指導計画を見直し、工夫・改善を行っている。
	学習指導と評価	<ul style="list-style-type: none"> ・指導方法や教材・教具の工夫等により、幼児児童生徒の学習意欲を高めている。 ・幼児児童生徒の実態に即した指導が行われ、指導内容は適切である。 ・学習指導に関する知識・技能が発揮され、幼児児童生徒の理解を促進している。 ・指導と評価の一体化を図り、他の教諭と連携しながら学習指導の工夫・改善に努めている。
II 学部・学年・学級経営・生徒指導等	学部・学年・学級経営、生徒指導、進路指導、特別活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・教員間で学部・学年運営上の課題を共有するなど、相互理解に努めている。 ・教育相談的な対応に心がけ、個々の理解に努めながら適切な生徒指導を行っている。 ・活動内容や指導方法を工夫し、幼児児童生徒の能力を高め、特性を発揮させている。 ・生徒の実態に応じ、卒業後の生活を考慮に入れた進路指導を行っている。 ・家庭や地域、関係機関と連携し、組織的な対応に努めている。
III その他の校務等	校務分掌等	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 ・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 ・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 ・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。
チームワーク行動		・日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。

(19) 養護助教諭

評価領域		着眼点
I 保健管理	保健室運営	<ul style="list-style-type: none"> 学校保健計画の作成に参画し、他の教諭と連携しながら健康・安全の指導に取り組んでいる。 保健に関する情報の収集と管理、提供に努めている。 職務の特質や保健室の機能を生かした健康相談を行っている。 健康診断の準備、実施、結果に基づく措置を適切に行っている。
	救急処置・学校環境衛生	<ul style="list-style-type: none"> 日常における環境衛生活動の充実を図るため、学級担任等に適切な協力や助言に努めている。 児童生徒の心身の健康状況・健康上の課題に関する情報を適切に管理している。 日頃から、関係医療機関・相談機関等との連絡体制の整備を図っている。 感染症や疾病の予防、救急処置等の必要な知識・技術を有し、緊急事態に対して、冷静、的確に対応できる。
II 保健教育	保健指導・保健学習	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が自ら健康課題について考え、判断し、行動できるような実践的な能力や態度を身に付けるよう担任と連携しながら指導に努めている。 健康上の課題がある児童生徒の指導について、保護者、家庭との連絡を密にし、協力体制を形成している。 児童生徒の健康課題について、家庭や地域への啓発に努めている。 保健学習への助言、資料提供や教材作成等の協力に努めている。
III その他の校務等	校務分掌等	<ul style="list-style-type: none"> 校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。
チームワーク行動		<ul style="list-style-type: none"> 日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。

(20) 拠点校指導教員

評価領域		着眼点
I 教科等に関する研修	指導計画の作成・改善に関する指導・助言	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領を踏まえ、教科の目標や内容を的確に捉えるとともに、児童生徒の実態に即した指導計画を作成させている。 常に教材を吟味検討するよう指導し、研究改善していく姿勢を持ち続けるよう教材研究の基礎基本を指導している。 道徳教育、特別活動、総合的な学習の時間の教育的意義、指導計画の作成等について実際に即した指導を行っている。
	学習指導と評価に関する指導・助言	<ul style="list-style-type: none"> 示範授業、授業研究、初任者授業公開を十分に計画・実施し、教科指導等における基礎的技術の習得に努めている。 発問、指示、児童生徒への対応等を含む初任者の授業力を向上させている。 ワークシートやペーパーテストの作成、児童生徒の学習状況の観察の方法など具体的な評価のための技術を習得させている。 初任者の資質・能力や学校の実態にあわせた具体的な指導・助言を行っている。
II 学級経営・生徒指導等に関する研修	学級経営、生徒指導等に関する指導・助言	<ul style="list-style-type: none"> 学級経営の意義、学級組織づくりや教室環境づくり、児童生徒による活動の運営などの実際の工夫、保護者との連携、事務処理などの基本的事項について日常の業務を通し指導し定着させている。 各学校行事の立案・運営・評価にできる限り参画させながら、その意義やあり方を理解させるよう配慮している。 生徒指導・進路指導について、その意義を理解させるとともに、日常の教育活動を通してガイダンス機能や教育相談の重要性など基礎的事項の指導を行っている。 初任者との日常的な相談の中で、解決に向けた考え方や対応の具体例を提示し、指導を行っている。
III 基礎的素養に関する研修等	基礎的素養に関する指導・助言 校務分掌等	<ul style="list-style-type: none"> 学校は目的達成のための組織体という観点から学校運営全般に関する事項の指導を行い、初任者に責任を果たそうとする態度を育成している。 教師としての心構え、法令遵守等、教員としての基礎的素養等に関する研修内容を計画的、継続的に指導している。 特別支援教育の制度と具体的な取組みの状況を理解させている。 拠点校及び兼務校の校長や校内指導教員等と協力し、効果的な研修を進めている。 教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。
チームワーク行動		<ul style="list-style-type: none"> 日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。

(21) 事務主幹

評価領域	着眼点
------	-----

I (※)	<p>1 知識・情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな知識の習得や収集に努めている。また、習得した知識や情報を共有している。 ・担当業務に関して必要となる一般的な知識や基本的なノウハウを有している。 ・職務に関する情報を取捨選択し、必要に応じて担当業務に活用している。 <p>2 判断力・調整力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織の方針や上司の指示に沿って、業務遂行に必要な判断・決断を的確に行っている。 ・関係機関への十分な説明や交渉を行い、連絡調整や手続きのもとに担当業務を的確に処理している。 ・校長に連絡・報告・相談を行うとともに、職員間で連絡や調整を行い、組織として機能を発揮させている。 <p>3 迅速性・機動性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・突発的な出来事にも迅速に情報収集や報告・連絡を行っている。 ・日常の業務遂行の中で、起こりうる問題を想定し、対策を講じている。 ・問題発生に対して、組織の方針や上司の指示を受けて、機敏に行動している。 ・組織の方針等に沿って職員間で連携・協力し、問題の拡大や業務の停滞を防いでいる。 <p>4 取組姿勢</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織の方針を踏まえ、課題達成に向けた具体的方策やスケジュールを立て、進捗状況を把握し管理している。 ・接遇の基本に則して、誠意をもって適切に対応している。 ・社会全般の動向や県民等のニーズの把握に努めるとともに、新しい発想を持って職務改善に臨んでいる。 ・公務員としての高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。
II (※)	<p>5 積極性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困難な課題を先送りせず、課題達成や問題解決に向け、積極的かつ迅速に行動し、説明を行っている。 ・新たな課題に、積極的にチャレンジしている。 ・職務を自覚し、問題意識を持って前向きに取り組んでいる。 <p>6 責任感</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題業務のみならず、通常業務においても熱意をもって着実に進めている。 ・困難な課題に直面しても責任を回避することなく、組織の方針等に沿って粘り強く誠意を持って対応している。 ・手掛けた仕事は最後まで責任を持ってやり遂げている。 <p>7 協調性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上司や職員との十分な意思疎通を図るとともに、士気を高め職員一丸となって職務に取り組んでいる。 ・職員とのコミュニケーションの円滑化を図り、能力等を把握し、その能力の伸張が図られるように適切に指導・助言している。
III その他の校務等	<p>チームワーク行動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。

※ I及びIIの評価領域には、担当する事務分掌の中から主なものを2つ設定する。

(22) 事務主査

評価領域	着眼点
I (※)	<p>1 知識・情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな知識の習得や収集に努めている。また、習得した知識や情報を共有している。 ・担当業務に関して必要となる一般的な知識や基本的なノウハウを有している。 ・職務に関する情報を取捨選択し、必要に応じて担当業務に活用している。 <p>2 判断力・調整力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織の方針や上司の指示に沿って、業務遂行に必要な判断を的確に行っている。 ・関係機関への十分な説明や交渉を行い、連絡調整や手続きのもとに担当業務を的確に処理している。 ・教職員等の意見や考え方を確認しながら連絡や調整を行い、相互理解を進めている。 <p>3 迅速性・機動性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に安心・安全の意識を持ち、突発的な出来事にも迅速に情報収集や報告・連絡を行っている。

<p>II (※)</p> <p>III その他の校務等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の業務遂行の中で、起こりうる問題を想定し、対策を講じている。 ・ 問題発生に対して、組織の方針や上司の指示を受けて、機敏に行動している。 ・ 組織の方針等に沿って職員間で連携・協力し、問題の拡大や業務の停滞を防いでいる。 <p>4 取組姿勢</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織の方針を踏まえ、課題達成に向けた具体的方策やスケジュールを立て、管理している。 ・ 接遇の基本に則して、誠意をもって適切に対応している。 ・ 県政・社会全般の動向や県民等のニーズの把握に努めるとともに、新しい発想を持って職務改善に臨んでいる。 ・ 公務員としての高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。 <p>5 積極性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 困難な課題を先送りせず、課題達成や問題解決に向け、積極的に行動し、説明を行っている。 ・ 新たな課題に、積極的にチャレンジしている。 ・ 職務を自覚し、問題意識を持って前向きに取り組んでいる。 <p>6 責任感</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題業務のみならず、通常業務においても熱意をもって着実に進めている。 ・ 困難な課題に直面しても責任を回避することなく、組織の方針等に沿って粘り強く誠意を持って対応している。 ・ 手掛けた仕事は最後まで責任を持ってやり遂げている。 <p>7 協調性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上司や職員との十分な意思疎通を図るとともに、連携して職務に取り組んでいる。 ・ 職員とのコミュニケーションの円滑化を図り、能力等を把握し、その能力の伸張が図られるように適切に指導・育成している。 ・ 重要度や緊急度に応じ、自発的に他の仕事を手伝っている。
<p>チームワーク行動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。

※ I及びIIの評価領域には、担当する事務分掌の中から主なものを2つ設定する。

(23) 事務主任、主任専門員（事務職員）

評価領域	着眼点
<p>I (※)</p>	<p>1 知識・情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな知識の習得や収集に努めている。また、習得した知識や情報を共有している。 ・ 担当業務に関して必要となる一般的な知識や基本的なノウハウを有している。 ・ 職務に関する情報を取捨選択し、必要に応じて担当業務に活用している。 <p>2 判断力・調整力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織の方針や上司の指示に沿って、業務遂行に必要な判断を的確に行っている。 ・ 関係機関との連絡調整や手続きのもとに担当業務を的確に処理している。 ・ 教職員等の意見や考え方を確認しながら連絡や調整を行い、相互理解を進めている。
<p>II (※)</p> <p>III その他の校務等</p>	<p>3 迅速性・機動性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 突発的な出来事にも迅速に情報収集や報告・連絡を行っている。 ・ 日常の業務遂行の中で、起こりうる問題を想定し、対策を講じている。 ・ 問題発生に対して、組織の方針や上司の指示を受けて、機敏に行動している。 ・ 組織の方針等に沿って職員間で連携・協力し、問題の拡大や業務の停滞を防いでいる。 <p>4 取組姿勢</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織の方針を踏まえ、課題達成に向けた具体的方策やスケジュールを立て、遂行している。 ・ 接遇の基本に則して、誠意をもって適切に対応している。 ・ 社会全般の動向や県民等のニーズの把握に努めるとともに、新しい発想を持って職務に臨んでいる。 ・ 公務員としての高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。 <p>5 積極性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 困難な課題を先送りせず、課題達成や問題解決に向け、積極的に行動し、説明を行っている。 ・ 新たな課題に、積極的にチャレンジしている。 ・ 職務を自覚し、問題意識を持って前向きに取り組んでいる。 <p>6 責任感</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題業務のみならず、通常業務においても熱意をもって着実に進めている。 ・ 困難な課題に直面しても責任を回避することなく、組織の方針等に沿って粘り強く誠意を持って対応している。 ・ 手掛けた仕事は最後まで責任を持ってやり遂げている。

	<p>7 協調性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上司や職員との十分な意思疎通を図るとともに、連携して職務に取り組んでいる。 ・重要度や緊急度に応じ、自発的に他の仕事を手伝っている。
チームワーク行動	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。

※ I及びIIの評価領域には、担当する事務分掌の中から主なものを2つ設定する。

(24) 事務主事、専門員（事務職員）

評価領域	着眼点
I (※)	<p>1 知識・情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習得した知識や技術を維持向上するとともに、共有を行っている。 ・担当業務に関して必要となる一般的な知識や基本的なノウハウを有している。 ・職務に関する情報を取捨選択し、必要に応じて担当業務に活用している。 <p>2 判断力・調整力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織の方針や上司の指示に沿って、業務遂行に必要な判断を的確に行っている。 ・関係機関との連絡調整や手続きのもとに担当業務を的確に処理している。 ・教職員等の意見や考え方を確認しながら連絡や調整を行い、相互理解を進めている。
II (※)	<p>3 迅速性・機動性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に安心・安全の意識を持ち、突発的な出来事にも迅速に情報収集や報告・連絡を行っている。 ・日常の業務遂行の中で、起こりうる問題を想定し、対策を講じている。 ・問題発生に対して、組織の方針や上司の方針を受けて、機敏に行動している。 ・組織の方針等に沿って職員間で連携・協力し、問題の拡大や業務の停滞を防いでいる。 <p>4 取組姿勢</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織の方針を踏まえ、課題達成に向けた具体的方策やスケジュールを立て、遂行している。 ・接遇の基本に則して、誠意をもって適切に対応している。 ・社会全般の動向や県民等のニーズの把握に努めるとともに、新しい発想を持って職務に臨んでいる。 ・公務員としての高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。
III その他の校務等	<p>5 積極性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困難な課題を先送りせず、課題達成や問題解決に向け、積極的に行動し、説明を行っている。 ・新たな課題に、積極的にチャレンジしている。 ・職務を自覚し、問題意識を持って前向きに取り組んでいる。 <p>6 責任感</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題業務のみならず、通常業務においても熱意をもって着実に進めている。 ・困難な課題に直面しても責任を回避することなく、組織の方針等に沿って粘り強く誠意を持って対応している。 ・手掛けた仕事は最後まで責任を持ってやり遂げている。 <p>7 協調性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上司や職員との十分な意思疎通を図るとともに、連携して職務に取り組んでいる。 ・重要度や緊急度に応じ、自発的に他の仕事を手伝っている。
チームワーク行動	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。

※ I及びIIの評価領域には、担当する事務分掌の中から主なものを2つ設定する。

(25) 栄養主査

評価領域	着眼点
I (※)	<p>栄養管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的知識を生かして学校給食を実施する上で必要な諸帳簿の作成、食事状況調査などを適切に実施している。 ・地場産物の活用や郷土食の導入など、各学校の実態に応じた献立を作成し、地域の特色を生かした学校給食を積極的に実施している。 ・食品に関する最新の情報収集と管理、提供を行っている。 ・食物アレルギー等のある児童生徒に対して、校内の職員、主治医、保護者等と積極的に連携し、可能な限り個々の生徒の状況に応じた対応を行っている。
II (※)	<p>衛生管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食材の適切な選定・購入や検収・保管を徹底している。 ・「学校給食衛生管理基準」に定める衛生管理を行うため、調理従事者等に対して必要な指導・助言を行うとともに、必要に応じて改善のための取組を行っている。 ・学校給食の安全を確保するため、衛生に係る日常点検の実施、検食、保存食の管理を確実にしている。
	<p>食に関する指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食に関する指導に係る指導計画に参画し、招待給食等の企画・立案を補佐している。 ・様々な機会を通じて、家庭や地域との連携を積極的に推進している。 ・指導計画に基づき、学校給食を有効に活用した食に関する指導を教職員と協力し

		ながら積極的にやっている。
Ⅲ その他の校務等	校務分掌等	<ul style="list-style-type: none"> 校務分掌等の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。
チームワーク行動		<ul style="list-style-type: none"> 日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。

※ I及びIIの評価領域には、担当する事務分掌の中から主なものを2つ設定する。

(26) 栄養主任、主任専門員（栄養職員）

評価領域		着眼点
Ⅰ（※）	栄養管理	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食を実施する上で必要な諸帳簿の作成、食事状況調査などを適切に実施している。 地場産物の活用や郷土食の導入など、各学校の実態に応じた献立を作成し、地域の特色を生かした学校給食を意欲的に実施している。 食品に関する最新の情報収集と管理、提供を行っている。 食物アレルギー等のある児童生徒に対して、校内の職員、主治医、保護者等と適切に連携し、可能な限り個々の生徒の状況に応じた対応を行っている
	衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> 食材の適切な選定・購入や検収・保管を徹底している。 「学校給食衛生管理基準」に定める衛生管理を行うため、調理従事者等に対して必要な指導・助言を行うとともに、必要に応じて改善のための取組を行っている。 学校給食の安全を確保するため、衛生に係る日常点検の実施、検食、保存食の管理を確実にしている。
	食に関する指導	<ul style="list-style-type: none"> 食に関する指導に係る指導計画に参画し、招待給食等の企画・立案を補佐している。 様々な機会を通じて、家庭や地域との連携を推進している。 指導計画に基づき、学校給食を有効に活用した食に関する指導を教職員と協力しながら意欲的にやっている。
Ⅲ その他の校務等	校務分掌等	<ul style="list-style-type: none"> 校務分掌等の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。
チームワーク行動		<ul style="list-style-type: none"> 日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。

※ I及びIIの評価領域には、担当する事務分掌の中から主なものを2つ設定する。

(27) 栄養技師、専門員（栄養職員）

評価領域		着眼点
Ⅰ（※）	栄養管理	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食を実施する上で必要な諸帳簿の作成などを適切に実施している。 地場産物の活用や郷土食の導入など、各学校の実態に応じた献立を作成し、地域の特色を生かした学校給食を実施している。 食品に関する最新の情報収集と管理、提供に努めている。 食物アレルギー等のある児童生徒に対して、校内の職員、主治医、保護者等と連携し、可能な限り個々の生徒の状況に応じた対応を行っている。
	衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> 食材の適切な選定・購入や検収・保管を徹底している。 「学校給食衛生管理基準」に定める衛生管理を行うため、調理従事者等に対して必要な指導・助言を行うとともに、必要に応じて改善のための取組を行っている。 学校給食の安全を確保するため、衛生に係る日常点検の実施、検食、保存食の管理を確実にしている。
	食に関する指導	<ul style="list-style-type: none"> 食に関する指導に係る指導計画に参画し、招待給食等の企画・立案を補佐している。 様々な機会を通じて、家庭や地域との連携に努めている。 指導計画に基づき、学校給食を有効に活用した食に関する指導を教職員と協力しながら行っている。
Ⅲ その他の校務等	校務分掌等	<ul style="list-style-type: none"> 校務分掌等の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。
チームワーク行動		<ul style="list-style-type: none"> 日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。

※ I及びIIの評価領域には、担当する事務分掌の中から主なものを2つ設定する。

別表第2 チームワーク行動に関する着眼点

1 キャリア段階とチームワーク行動に関する着眼点

教職員は、下記に掲げる在職年数に応じた3段階のキャリア段階ごとに定められたチームワーク行動に関する着眼点に基づいて、重点項目の設定を行う。

<各キャリア段階の考え方>

I 段階：採用年度から10年目まで

チームワーク行動の基礎として必要な教職員相互のよりよいコミュニケーション、信頼関係や協力関係の構築、教育活動の経験の伝承・蓄積に積極的に取り組む時期

II 段階：11年目から20年目まで

I段階で身に付けた資質能力を基礎に、ミドル層として意欲を持って学校運営に参画し、教職員間の共通理解を深めながらチームワークづくりを推進するとともに、さらに経験を広げ発展・充実する時期

III 段階：21年目以上

これまでの多様な校務経験や高い専門性、幅広い知識などを最大限活用し、学校組織全体という広い視点を持ちながら、校務の中心的存在として実力を発揮するとともに、必要な諸調整などに積極的に取り組む時期

キャリア段階	チームワーク行動に関する着眼点
I	相手の立場や気持ちを理解し、日常的に円滑なコミュニケーションを取っている
	諸会議や職務遂行において、他の教職員の意見に耳を傾け協力して取り組んでいる
	教育活動等の経験を継承するため、他の教職員から積極的に学ぼうとしている
	直接担当する業務以外でも、気付いたことがあれば積極的に行動している
II	児童生徒の状況や校務に関わる情報を共有し、積極的にコミュニケーションを取っている
	諸会議や職務遂行において、提案や改善に努め、意欲を持って主体的に取り組んでいる
	チームで協力して教育活動等の経験の蓄積に取り組んでいる
	管理職や他の教職員、保護者等と協力・協働し、チームワークづくりを推進している
III	チームの取組等を他の教職員や保護者等に発信するなど、信頼関係づくりを推進している
	諸会議や職務遂行において、進んで合意形成を図りながら、職務を円滑に遂行している
	教育活動等の経験を伝承するため、他の教職員に対して進んで支援・助言を行っている
	広い視野から取組状況等を分析し、中長期的な視点で課題や対応方針を考えて行動している

2 キャリア段階の決定に係る取扱いについて

- (1) 在職年数が1に定める期間に満たない場合でも管理職候補者名簿登載者のキャリア段階はIIIとする。
- (2) キャリア段階の決定に係る在職年数は、本県本採用の年度から当該年度末までの在職年数であり、長期に渡る研修、休暇、休業、退職等の期間がある場合でも、これを除外しないものとする。
また、1年未満は切り捨てとする。
- (3) 任期付職員、臨時的任用職員及び再任用職員についてはキャリア段階を定めず、重点項目は選択しない。

別表第3 評価に係る表

<表1 目標の困難度>

困難度	内 容
5	職責から勘案し、努力すれば達成できる目標で、極めて高い水準
4	職責から勘案し、努力すれば達成できる目標で、高い水準
3	職責から勘案し、標準的な維持目標

<表2 達成度の基準>

達成度	内 容
a	目標を完全に達成できた状態をいう（達成度9割以上）
b	目標をほぼ達成できた状態をいう（達成度7割以上）
c	目標を達成できなかった状態をいう（達成度7割未満）

<表3 実績及び行動プロセスの自己評価基準>

自己評価	内 容
x	期待どおり職務を遂行した
y	職務を遂行する上で、改善すべき点がある
z	職務を遂行する上で、支障をきたしている

<表4 実績及び行動プロセスの評価領域別の評価者評価の基準>

評価者評価	内 容
A	評価領域の職務を遂行する上で、通常必要な水準を上回っており、特筆すべき実績又は実践の事実がある
B	評価領域の職務を遂行する上で、通常必要な水準を充たしており、概ね期待どおりである
C	評価領域の職務を遂行する上で、通常必要な水準を充たしておらず、努力が必要である
D	評価領域の職務を遂行する上で、通常必要な水準を充たしておらず、支障をきたしている

注 標準的な評価段階は「B」である

<表5 領域別評価の総合評価への換算表>

総合評価	換 算 方 法
A	評価領域別の評価者評価にC、Dがなく、Aが複数ある
B	総合評価がA、C、D以外の場合
C	評価領域別の評価者評価にDがなく、Cが複数ある
D	評価領域別の評価者評価にDがある

任期付職員、臨時的任用職員、再任用職員（管理職員を除く）にあつては、少なくとも1つの領域で目標を設定し、目標設定を行った領域別評価を総合評価とする。複数の領域に目標を設定した場合は、目標を設定した領域の領域別評価を、総合評価へ換算する。

<表6 実績及び行動プロセスの総合評価基準>

総合評価	内 容
A	職務を遂行する上で、通常必要な水準を大幅に上回っている
B	職務を遂行する上で、通常必要な水準を充たしており、概ね期待どおりである
C	職務を遂行する上で、通常必要な水準を充たしておらず、努力が必要である
D	職務を遂行する上で、通常必要な水準を充たしておらず、支障をきたしている

注1 表5による換算後の評価を総合評価とする

注2 標準的な評価段階は〔B〕である

<表7 チームワーク行動の自己評価の基準>

自己評価	内 容
x	期待どおり職務を遂行した
y	職務を遂行する上で、改善すべき点がある
z	職務を遂行する上で、支障をきたしている

<表8 チームワーク行動の評価者評価の基準>

評価者評価	内 容
A	職務を遂行する上で、通常必要な水準を充たしており、期待どおりである
B	職務を遂行する上で、通常必要な基準を概ね充たしているが、改善すべき点がある
C	職務を遂行する上で、通常必要な水準を充たしておらず、支障をきたしている

注 標準的な評価段階は〔A〕である

※評価者評価の内容が実績及び行動プロセスの基準（表4）と異なることに留意すること